

文部科学省 総合教育政策局

「地域と学校の連携・協働に関する国民調査」
調査結果報告書

株式会社ジャンボ

令和5年3月

2022年度「地域と学校の連携・協働に関する国民調査」アンケート集計・グラフ (N=3000)

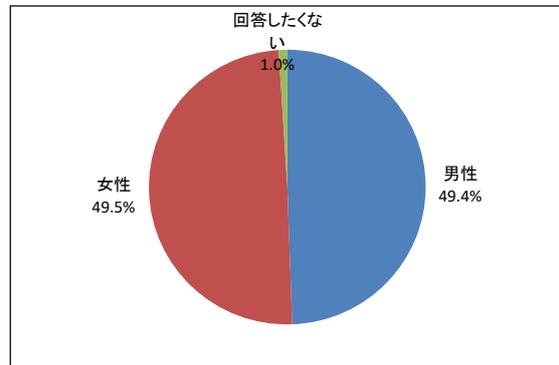
集計母数:有効回答数

【基礎調査】

F1 性別について

・性別の割合は、男女で差はなくほぼ半数となっている。

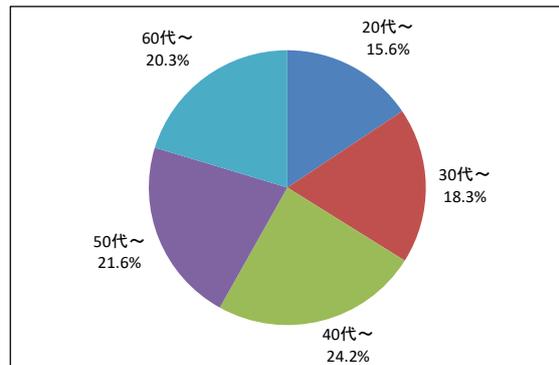
	件数	%
男性	1477	49.4%
女性	1481	49.5%
回答したくない	31	1.0%
合計	2989	100.0%
無回答	11	



F2 年齢について

・最も多い年代は「40代～」で24.2%、次いで、「50代～」が21.6%となっている。

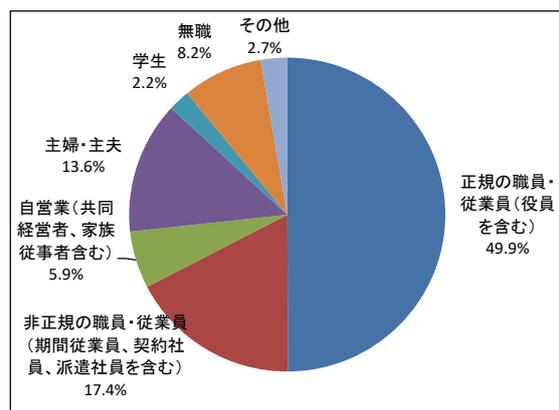
	件数	%
20代～	463	15.6%
30代～	545	18.3%
40代～	718	24.2%
50代～	641	21.6%
60代～	604	20.3%
合計	2971	100.0%
無回答	29	



F3 職業について

・職業は、「正規の職員・従業員(役員を含む)」が半数を占めている。

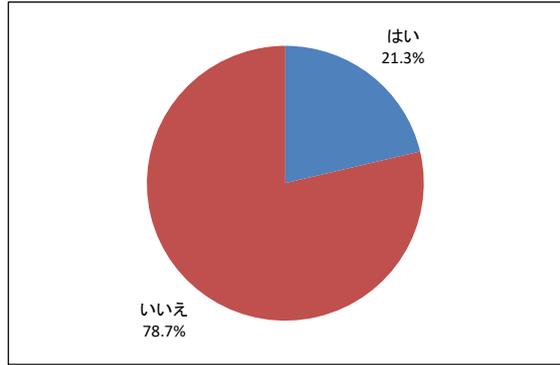
	件数	%
正規の職員・従業員(役員を含む)	1491	49.9%
非正規の職員・従業員(期間従業員、契約社員、派遣社員を含む)	521	17.4%
自営業(共同経営者、家族従事者含む)	176	5.9%
主婦・主夫	405	13.6%
学生	66	2.2%
無職	246	8.2%
その他	82	2.7%
合計	2987	100.0%
無回答	13	



F4 現在、在学中の児童生徒(高校生まで)と同居していますか

・現在、在学中の児童生徒(高校生まで)と同居している方は、21.3%であった。

	件数	%
はい	629	21.3%
いいえ	2318	78.7%
合計	2947	100.0%
無回答	53	

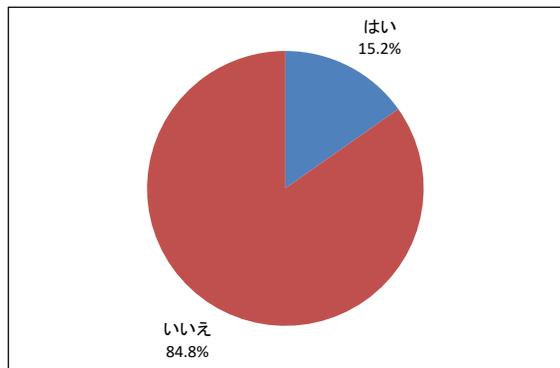


【活動】

問1 ここ1年間で子供の学びや成長を支援する活動に参加しましたか

・ここ1年間で子供の学びや成長を支援する活動に参加した方は、15.2%であった。

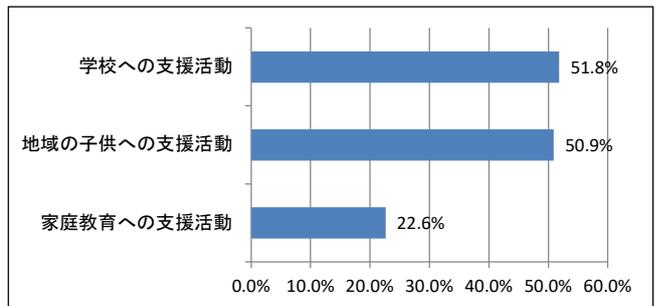
	件数	%
はい	455	15.2%
いいえ	2540	84.8%
合計	2995	100.0%
無回答	5	



問2 (問1ではいと回答した方)どのような活動に参加しましたか(複数回答)

・参加された支援活動については、「学校への支援活動」が51.8%と最も多く、次いで「地域の子供への支援活動」が50.9%となっている。

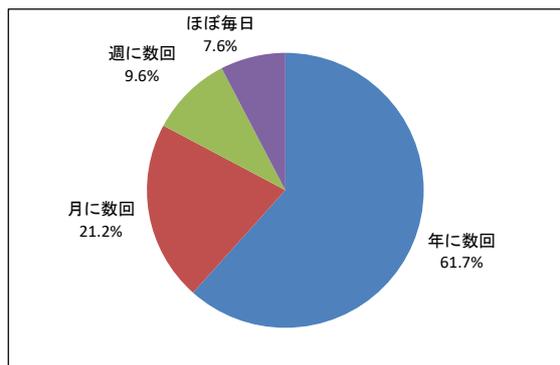
	件数	%
学校への支援活動	234	51.8%
地域の子供への支援活動	230	50.9%
家庭教育への支援活動	102	22.6%
(無回答=3、N値=452)		



問3 (問1ではいと回答した方)どのくらいの頻度で参加しましたか

・支援活動の参加頻度をみると、「年に数回」が61.7%と最も多くなっている。

	件数	%
年に数回	277	61.7%
月に数回	95	21.2%
週に数回	43	9.6%
ほぼ毎日	34	7.6%
合計	449	100.0%
無回答	6	

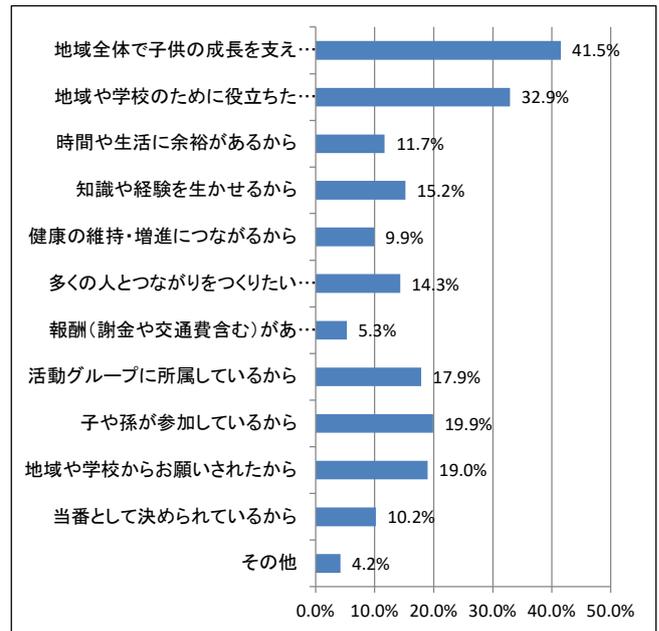


問4（問1ではいと回答した方）参加した理由について（複数回答）

・支援活動に参加した理由については、「地域全体で子供の成長を支える必要があるから」が41.5%で最も多く、次いで「地域や学校のために役立ちたいから」が32.9%となっている。

	件数	%
地域全体で子供の成長を支える必要があるから	188	41.5%
地域や学校のために役立ちたいから	149	32.9%
時間や生活に余裕があるから	53	11.7%
知識や経験を生かせるから	69	15.2%
健康の維持・増進につながるから	45	9.9%
多くの人とつながりをつくりたいから	65	14.3%
報酬（謝金や交通費含む）があるから	24	5.3%
活動グループに所属しているから	81	17.9%
子や孫が参加しているから	90	19.9%
地域や学校からお願いされたから	86	19.0%
当番として決められているから	46	10.2%
その他	19	4.2%

（無回答=2、N値=453）

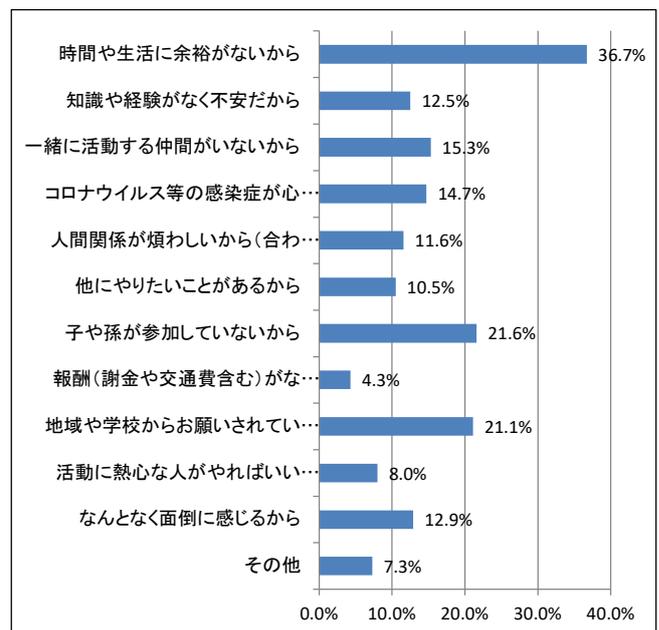


問5（問1でいいと回答した方）参加していない理由について（複数回答）

・支援活動に参加していない理由については、「時間や生活に余裕がないから」が36.7%で最も多く、次いで「子や孫が参加していないから」が21.6%、「地域や学校からお願いされていないから」が21.1%となっている。

	件数	%
時間や生活に余裕がないから	778	36.7%
知識や経験がなく不安だから	265	12.5%
一緒に活動する仲間がいないから	324	15.3%
コロナウイルス等の感染症が心配だから	311	14.7%
人間関係が煩わしいから（合わない人がいるから）	245	11.6%
他にやりたいことがあるから	222	10.5%
子や孫が参加していないから	457	21.6%
報酬（謝金や交通費含む）がない・少ないから	91	4.3%
地域や学校からお願いされていないから	448	21.1%
活動に熱心な人がやればよいから	169	8.0%
なんとなく面倒に感じるから	273	12.9%
その他	154	7.3%

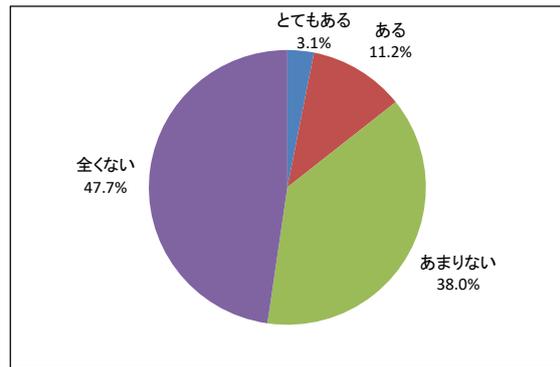
（無回答=420、N値=2120）



問6 地域の子供の成長に、自身が貢献している実感はありますか

・地域の子供の成長に貢献している実感については、「全くない」「あまりない」と回答した方で8割強を占めており、「とてもある」「ある」と回答した方は14.3%と少ない。

	件数	%
とてもある	87	3.1%
ある	317	11.2%
あまりない	1077	38.0%
全くない	1353	47.7%
合計	2834	100.0%
無回答	166	

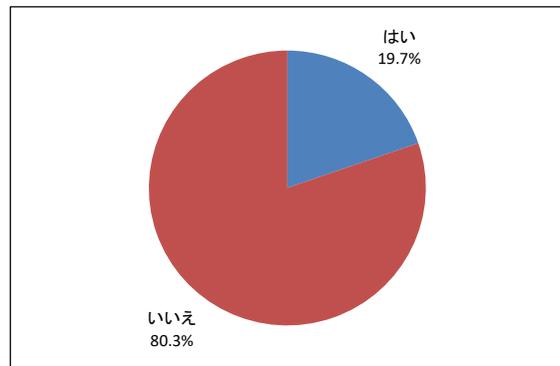


【認識】

問7 コミュニティ・スクールまたは学校運営協議会という言葉を知っていますか

・『コミュニティ・スクール』の認知度は、2割弱であった。

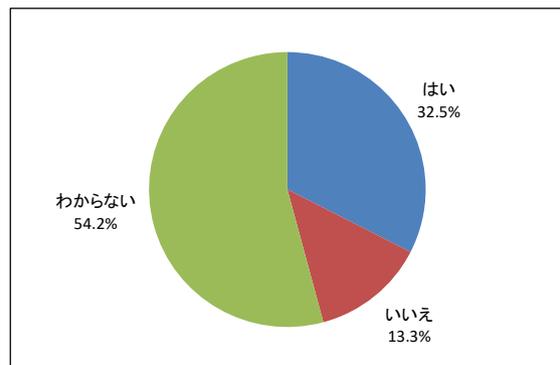
	件数	%
はい	585	19.7%
いいえ	2382	80.3%
合計	2967	100.0%
無回答	33	



問8 (問7ではいと回答した方)住んでいる地域にコミュニティ・スクールはありますか

・住んでいる地域に『コミュニティ・スクール』があると答えた方は32.5%、「わからない」という回答が半数以上であった。

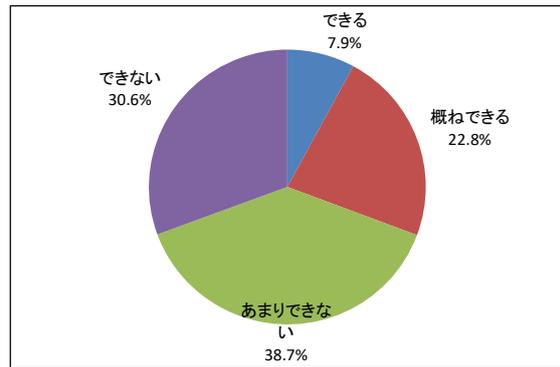
	件数	%
はい	189	32.5%
いいえ	77	13.3%
わからない	315	54.2%
合計	581	100.0%
無回答	4	



問9 (問7ではいと回答した方)コミュニティ・スクールまたは学校運営協議会について、どのような仕組みであるか説明することができますか

・『コミュニティ・スクール』の仕組みを説明できる(「できる」+「概ねできる」と回答された方はおよそ3割で、7割弱の方は「あまりできない」「できない」と答えている。

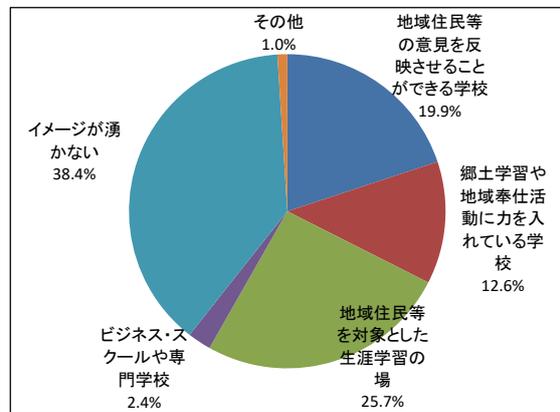
	件数	%
できる	43	7.9%
概ねできる	124	22.8%
あまりできない	211	38.7%
できない	167	30.6%
合計	545	100.0%
無回答	40	



問10 (問7でいいえと回答した方)コミュニティ・スクールという言葉からどのようなイメージを受けますか

・『コミュニティ・スクール』という言葉のイメージについては、「イメージが湧かない」が38.4%と最も多く、次いで「地域住民等を対象とした生涯学習の場」が25.7%、「地域住民等の意見を反映させることができる学校」が19.9%となっている。

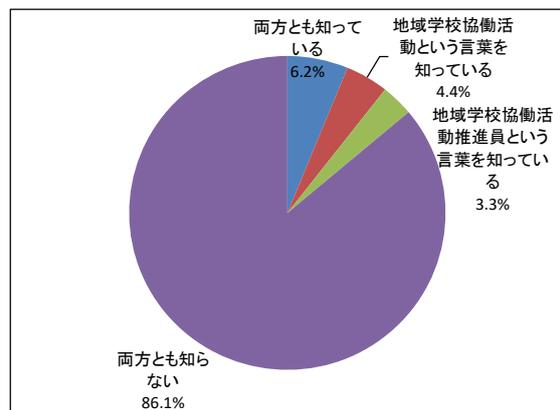
	件数	%
地域住民等の意見を反映させることができる学校	418	19.9%
郷土学習や地域奉仕活動に力を入れている学校	264	12.6%
地域住民等を対象とした生涯学習の場	540	25.7%
ビジネス・スクールや専門学校	50	2.4%
イメージが湧かない	806	38.4%
その他	20	1.0%
合計	2098	100.0%
無回答	284	



問11 地域学校協働活動や地域学校協働活動推進員という言葉を知っていますか

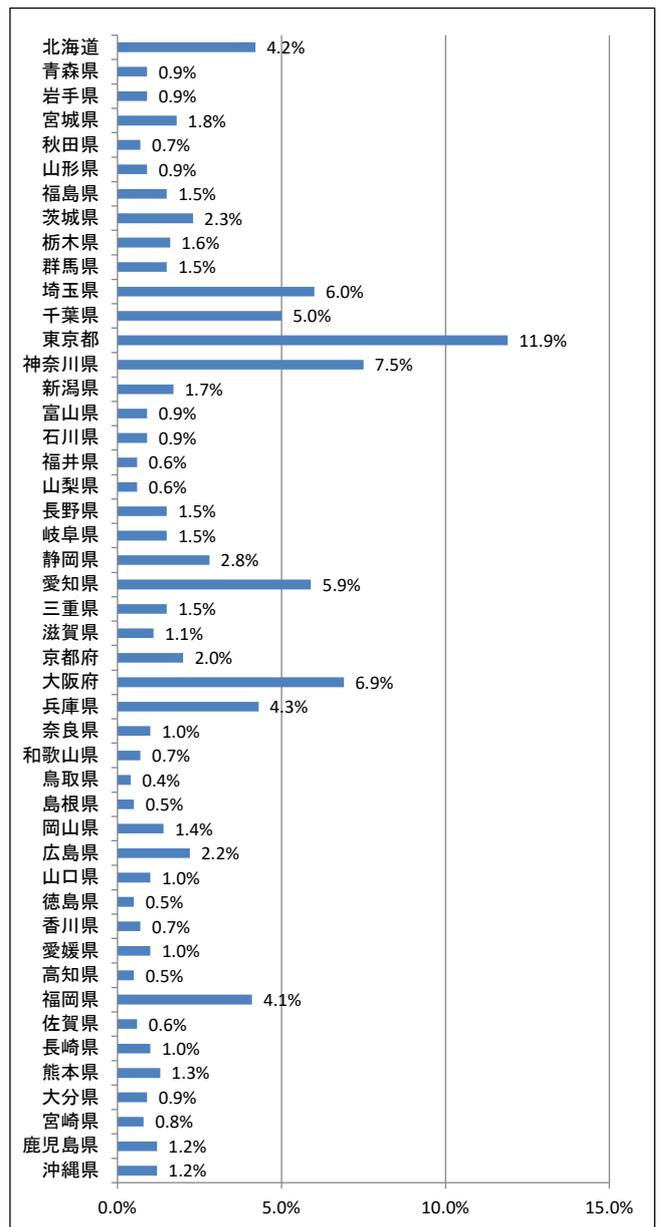
・『地域学校協働活動』や『地域学校協働活動推進員』という言葉の認知については、8割以上の方が「両方とも知らない」と回答しており認知度は低い。

	件数	%
両方とも知っている	179	6.2%
地域学校協働活動という言葉を知っている	126	4.4%
地域学校協働活動推進員という言葉を知っている	94	3.3%
両方とも知らない	2473	86.1%
合計	2872	100.0%
無回答	128	



居住地域

	件数	%
北海道	125	4.2%
青森県	28	0.9%
岩手県	28	0.9%
宮城県	55	1.8%
秋田県	20	0.7%
山形県	26	0.9%
福島県	46	1.5%
茨城県	68	2.3%
栃木県	49	1.6%
群馬県	45	1.5%
埼玉県	179	6.0%
千葉県	151	5.0%
東京都	358	11.9%
神奈川県	226	7.5%
新潟県	52	1.7%
富山県	26	0.9%
石川県	26	0.9%
福井県	18	0.6%
山梨県	18	0.6%
長野県	45	1.5%
岐阜県	44	1.5%
静岡県	85	2.8%
愛知県	178	5.9%
三重県	44	1.5%
滋賀県	33	1.1%
京都府	59	2.0%
大阪府	208	6.9%
兵庫県	128	4.3%
奈良県	30	1.0%
和歌山県	20	0.7%
鳥取県	12	0.4%
島根県	16	0.5%
岡山県	41	1.4%
広島県	66	2.2%
山口県	30	1.0%
徳島県	16	0.5%
香川県	22	0.7%
愛媛県	30	1.0%
高知県	15	0.5%
福岡県	122	4.1%
佐賀県	18	0.6%
長崎県	30	1.0%
熊本県	40	1.3%
大分県	26	0.9%
宮崎県	25	0.8%
鹿児島県	36	1.2%
沖縄県	37	1.2%
合計	3000	100.0%
無回答	0	



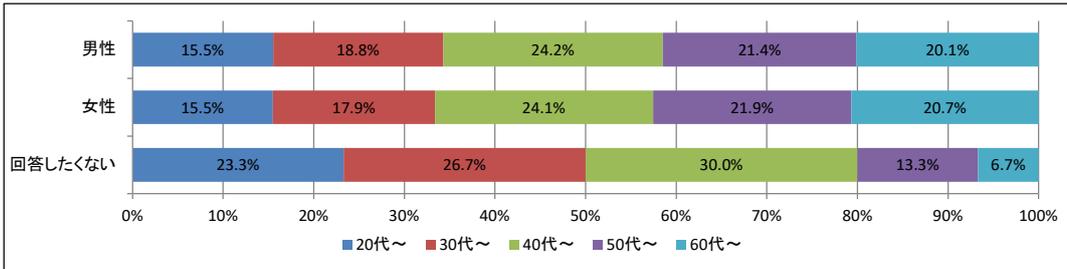
2022年度「地域と学校の連携・協働に関する国民調査」アンケート集計・グラフ
 集計母数：有効回答数(N=3000)
 クロス軸：F1性別

【基礎調査】

F2 年齢について

・年齢の割合は、男女間で差はほとんどみられない。

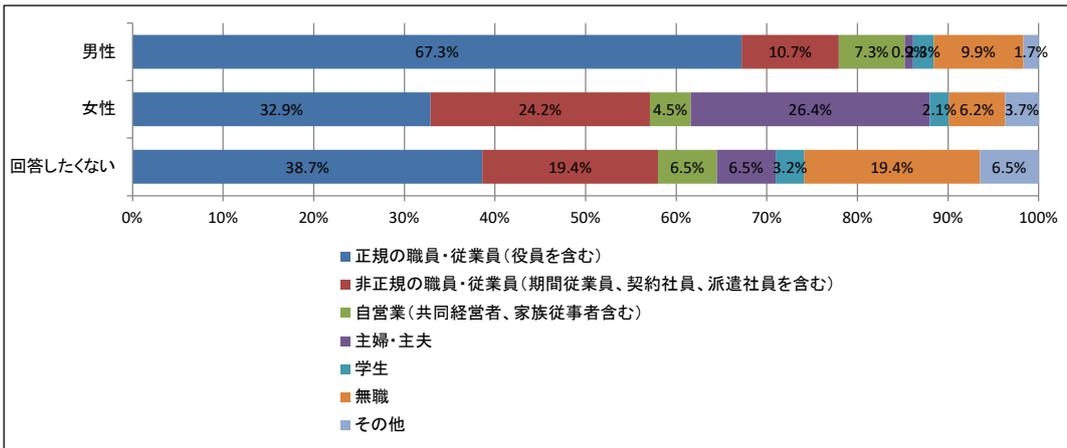
	20代～	30代～	40代～	50代～	60代～	合計	無回答
男性	227 15.5%	274 18.8%	354 24.2%	312 21.4%	294 20.1%	1461 100.0%	16
女性	228 15.5%	263 17.9%	355 24.1%	322 21.9%	305 20.7%	1473 100.0%	8
回答したくない	7 23.3%	8 26.7%	9 30.0%	4 13.3%	2 6.7%	30 100.0%	1



F3 職業について

・職業については、男性の「正規の職員・従業員(役員を含む)」が女性の2倍以上となっている。

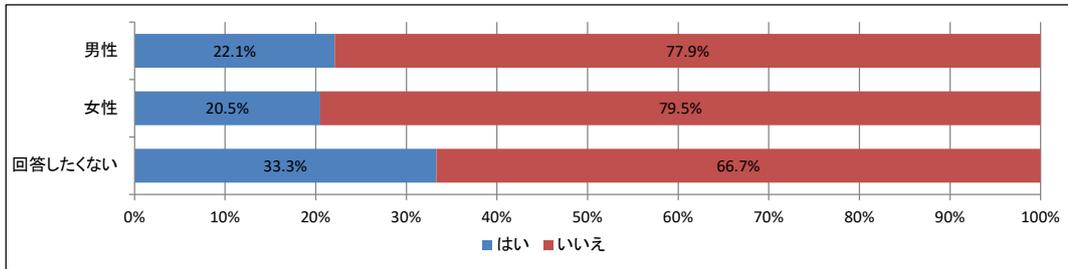
	正規の職員・従業員(役員を含む)	非正規の職員・従業員(期間従業員、契約社員、派遣社員を含む)	自営業(共同経営者、家族従事者を含む)	主婦・主夫	学生	無職	その他	合計	無回答
男性	991 67.3%	157 10.7%	107 7.3%	13 0.9%	34 2.3%	146 9.9%	25 1.7%	1473 100.0%	4
女性	485 32.9%	357 24.2%	66 4.5%	389 26.4%	31 2.1%	92 6.2%	55 3.7%	1475 100.0%	6
回答したくない	12 38.7%	6 19.4%	2 6.5%	2 6.5%	1 3.2%	6 19.4%	2 6.5%	31 100.0%	0



F4 現在、在学中の児童生徒(高校生まで)と同居していますか

・現在、在学中の児童生徒(高校生まで)と同居している回答者は男性の方が若干多いものの、ほぼ男女の差はない。

	はい	いいえ	合計	無回答
男性	320 22.1%	1131 77.9%	1451 100.0%	26
女性	299 20.5%	1160 79.5%	1459 100.0%	22
回答したくない	10 33.3%	20 66.7%	30 100.0%	1

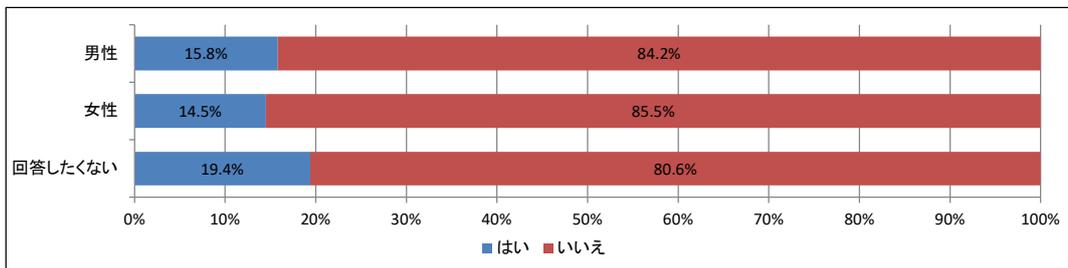


【活動】

問1 ここ1年間で子供の学びや成長を支援する活動に参加しましたか

・ここ1年間で子供の学びや成長を支援する活動に参加した回答者は、男性の方が女性より1.3ポイント高くなっている。

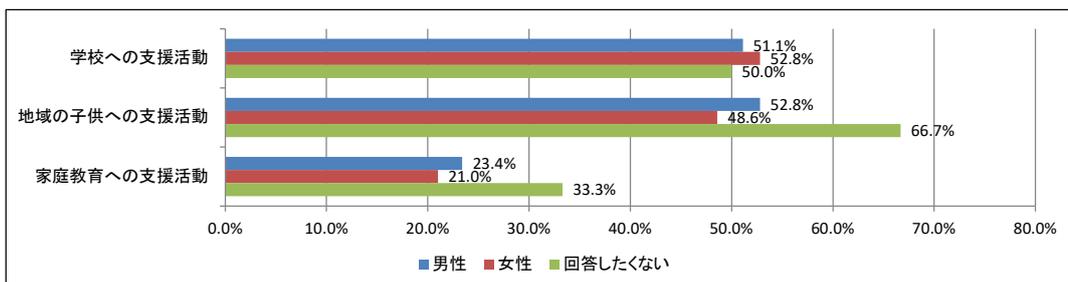
	はい	いいえ	合計	無回答
男性	233 15.8%	1242 84.2%	1475 100.0%	2
女性	215 14.5%	1264 85.5%	1479 100.0%	2
回答したくない	6 19.4%	25 80.6%	31 100.0%	0



問2 (問1ではいと回答した方)どのような活動に参加しましたか(複数回答)

・参加された支援活動については、「地域の子供への支援活動」と「家庭教育への支援活動」は男性の方が多く、「学校への支援活動」は女性の方が多くなっている。

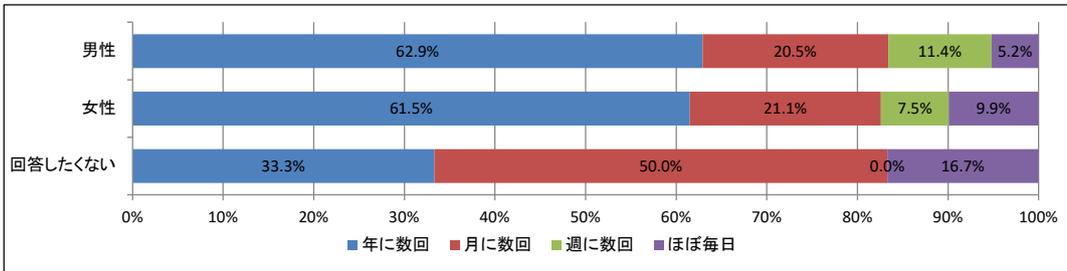
	学校への支援活動	地域の子供への支援活動	家庭教育への支援活動	(無回答=3、N値=452)
男性	118 51.1%	122 52.8%	54 23.4%	
女性	113 52.8%	104 48.6%	45 21.0%	
回答したくない	3 50.0%	4 66.7%	2 33.3%	



問3 (問1ではいと回答した方)どのくらいの頻度で参加しましたか

・支援活動の参加頻度をみると、男女ともに「年に数回」が最も多い。「週に数回」は男性が女性よりも多くなっている一方、「ほぼ毎日」は女性の方が多い。

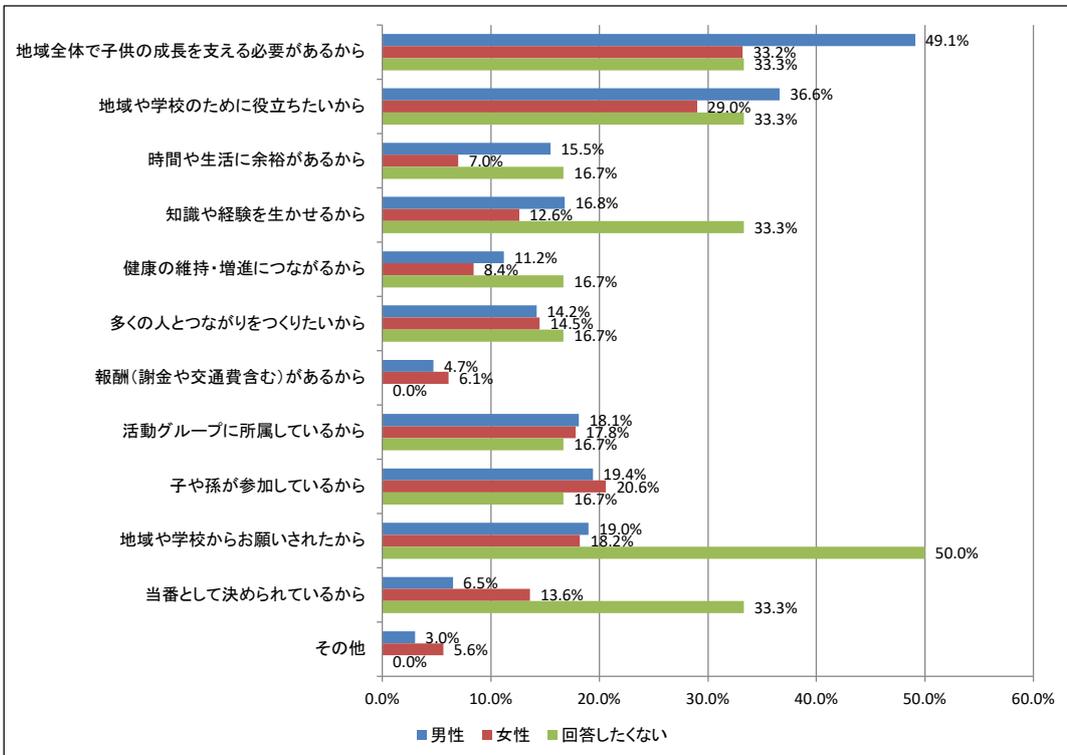
	年に数回	月に数回	週に数回	ほぼ毎日	合計	無回答
男性	144 62.9%	47 20.5%	26 11.4%	12 5.2%	229 100.0%	4
女性	131 61.5%	45 21.1%	16 7.5%	21 9.9%	213 100.0%	2
回答したくない	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	6 100.0%	0



問4 (問1ではいと回答した方)参加した理由について(複数回答)

・支援活動に参加した理由については、男性の「地域全体で子供の成長を支える必要があるから」が49.1%と最も多く、女性より15.9ポイント高くなっている。「当番として決められているから」は女性の方が男性より7.1ポイント高くなっている。

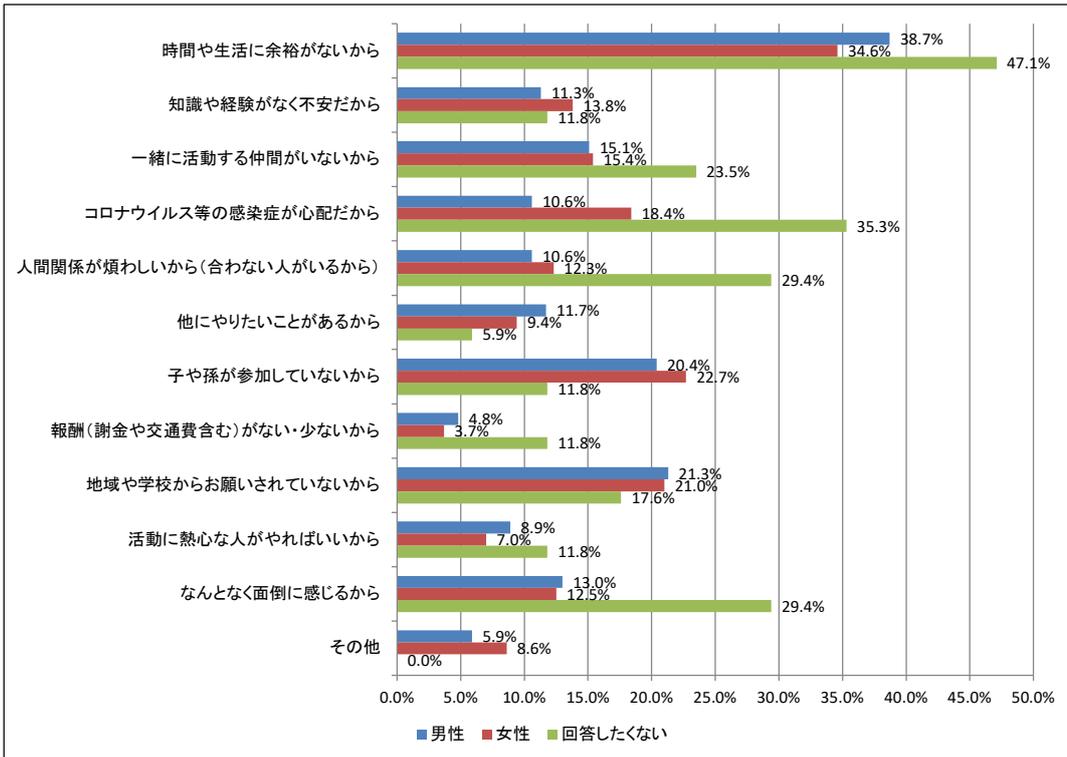
	地域全体で子供の成長を支える必要があるから	地域や学校のために役立ちたいから	時間や生活に余裕があるから	知識や経験を生かせるから	健康の維持・増進につながるから	多くの人とつながりをつくりたいから	報酬(謝金や交通費含む)があるから	活動グループに所属しているから	子や孫が参加しているから	地域や学校からお願いされたから	当番として決められているから	その他	(無回答=2、N値=453)
男性	114 49.1%	85 36.6%	36 15.5%	39 16.8%	26 11.2%	33 14.2%	11 4.7%	42 18.1%	45 19.4%	44 19.0%	15 6.5%	7 3.0%	
女性	71 33.2%	62 29.0%	15 7.0%	27 12.6%	18 8.4%	31 14.5%	13 6.1%	38 17.8%	44 20.6%	39 18.2%	29 13.6%	12 5.6%	
回答したくない	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	



問5 (問1でいいえと回答した方)参加していない理由について(複数回答)

・支援活動に参加していない理由について、男女の差が大きい項目は「コロナウイルス等の感染症が心配だから」で、女性が男性を7.8ポイント上回っている。

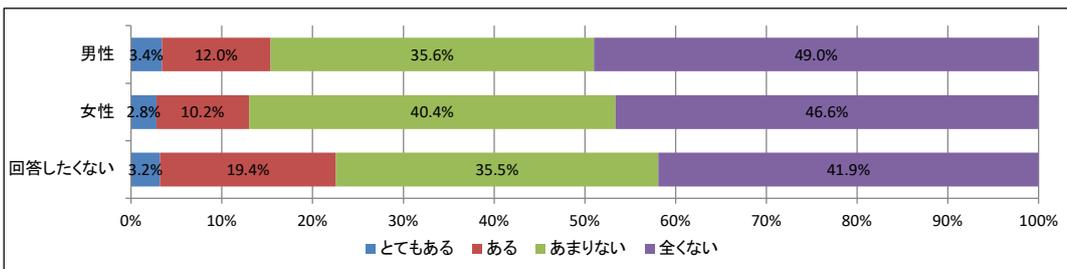
	時間や生活に余裕がないから	知識や経験がなく不安だから	一緒に活動する仲間がいないから	コロナウイルス等の感染症が心配だから	人間関係が煩わしいから(合わない人がいるから)	他にやりたいことがあるから	子や孫が参加していないから	報酬(謝金や交通費含む)がない・少ないから	地域や学校からお願いされていないから	活動に熱心な人がやればよいから	なんとなく面倒に感じるから	その他	(無回答=420、N値=2120)
男性	404 38.7%	118 11.3%	158 15.1%	111 10.6%	111 10.6%	122 11.7%	213 20.4%	50 4.8%	222 21.3%	93 8.9%	136 13.0%	62 5.9%	
女性	364 34.6%	145 13.8%	162 15.4%	194 18.4%	129 12.3%	99 9.4%	239 22.7%	39 3.7%	221 21.0%	74 7.0%	132 12.5%	91 8.6%	
回答したくない	8 47.1%	2 11.8%	4 23.5%	6 35.3%	5 29.4%	1 5.9%	2 11.8%	2 11.8%	3 17.6%	2 11.8%	5 29.4%	0 0.0%	



問6 地域の子供の成長に、自身が貢献している実感はありますか

・地域の子供の成長に貢献している実感について「とてもある」「ある」と回答した男性は女性に比べて2.4ポイント多くなっている。

	とてもある	ある	あまりない	全くない	合計	無回答
男性	47 3.4%	167 12.0%	497 35.6%	684 49.0%	1395 100.0%	82
女性	39 2.8%	142 10.2%	565 40.4%	652 46.6%	1398 100.0%	83
回答したくない	1 3.2%	6 19.4%	11 35.5%	13 41.9%	31 100.0%	0

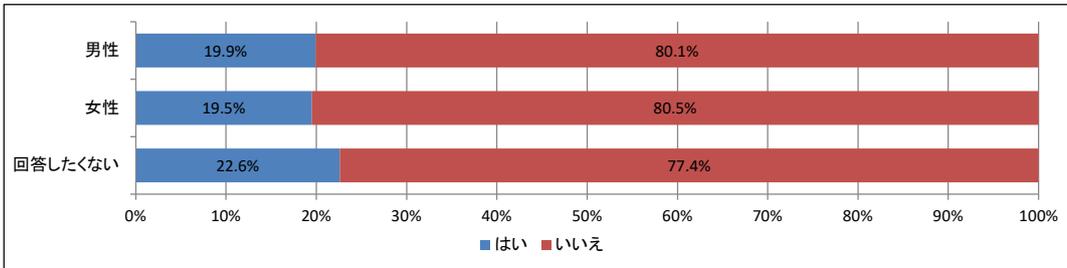


【認識】

問7 コミュニティ・スクールまたは学校運営協議会という言葉を知っていますか

・『コミュニティ・スクール』の認知度に男女の差はほとんどみられなかった。

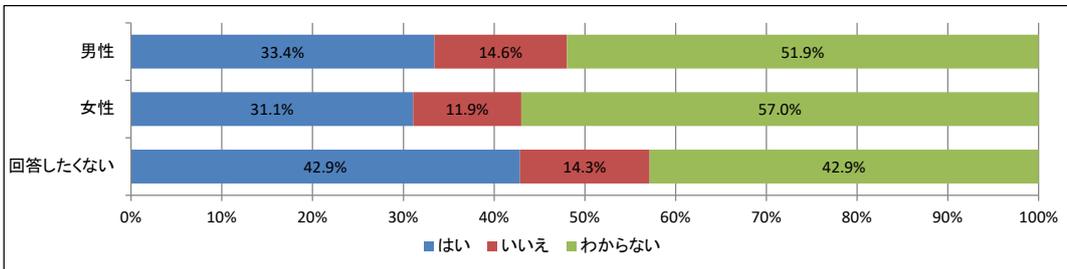
	はい	いいえ	合計	無回答
男性	291 19.9%	1172 80.1%	1463 100.0%	14
女性	286 19.5%	1177 80.5%	1463 100.0%	18
回答したくない	7 22.6%	24 77.4%	31 100.0%	0



問8 (問7ではいと回答した方)住んでいる地域にコミュニティ・スクールはありますか

・住んでいる地域に『コミュニティ・スクール』があると回答した方は、男性の方が女性よりも多くなっている。

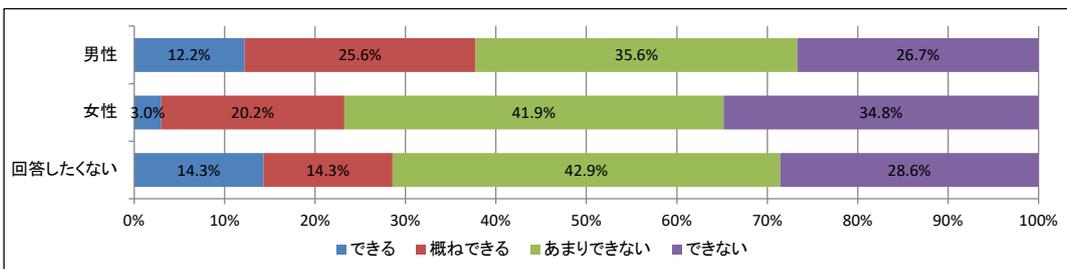
	はい	いいえ	わからない	合計	無回答
男性	96 33.4%	42 14.6%	149 51.9%	287 100.0%	4
女性	89 31.1%	34 11.9%	163 57.0%	286 100.0%	0
回答したくない	3 42.9%	1 14.3%	3 42.9%	7 100.0%	0



問9 (問7ではいと回答した方)コミュニティ・スクールまたは学校運営協議会について、どのような仕組みであるか説明することができますか

・『コミュニティ・スクール』の仕組みを説明できる(「できる」+「概ねできる」と)回答された方は、男性の方が女性よりも14.6ポイント多くなっている。

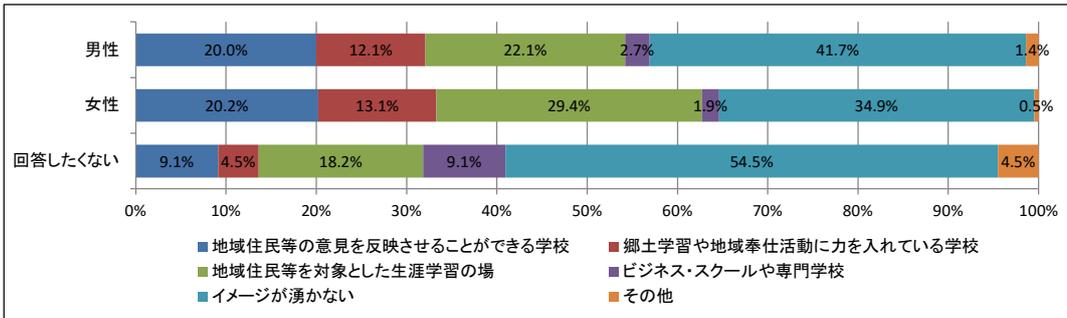
	できる	概ねできる	あまりできない	できない	合計	無回答
男性	33 12.2%	69 25.6%	96 35.6%	72 26.7%	270 100.0%	21
女性	8 3.0%	54 20.2%	112 41.9%	93 34.8%	267 100.0%	19
回答したくない	1 14.3%	1 14.3%	3 42.9%	2 28.6%	7 100.0%	0



問10 (問7でいいえと回答した方)コミュニティ・スクールという言葉からどのようなイメージを受けますか

・『コミュニティ・スクール』という言葉のイメージについては、「イメージが湧かない」が男女ともに一番多くなっている。次いで「地域住民等を対象とした生涯学習の場」が男女ともに多いが、女性の方が男性よりも7.3ポイント高くなっている。

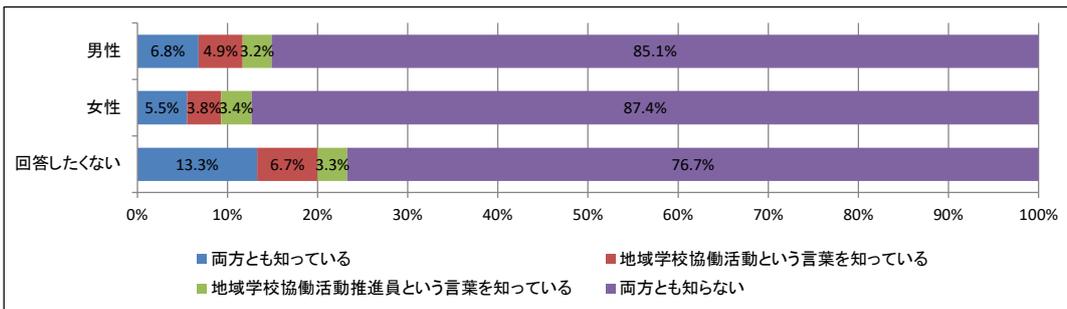
	地域住民等の意見を反映させることができる学校	郷土学習や地域奉仕活動に力を入れている学校	地域住民等を対象とした生涯学習の場	ビジネス・スクールや専門学校	イメージが湧かない	その他	合計	無回答
男性	207 20.0%	125 12.1%	228 22.1%	28 2.7%	431 41.7%	14 1.4%	1033	139
女性	209 20.2%	136 13.1%	304 29.4%	20 1.9%	361 34.9%	5 0.5%	1035	142
回答したくない	2 9.1%	1 4.5%	4 18.2%	2 9.1%	12 54.5%	1 4.5%	22	2



問11 地域学校協働活動や地域学校協働活動推進員という言葉を知っていますか

・『地域学校協働活動』や『地域学校協働活動推進員』という言葉の認知については、女性の方が男性に比べて認知度が低い。

	両方とも知っている	地域学校協働活動という言葉を知っている	地域学校協働活動推進員という言葉を知っている	両方とも知らない	合計	無回答
男性	96 6.8%	69 4.9%	45 3.2%	1199 85.1%	1409	68
女性	78 5.5%	54 3.8%	48 3.4%	1243 87.4%	1423	58
回答したくない	4 13.3%	2 6.7%	1 3.3%	23 76.7%	30	1



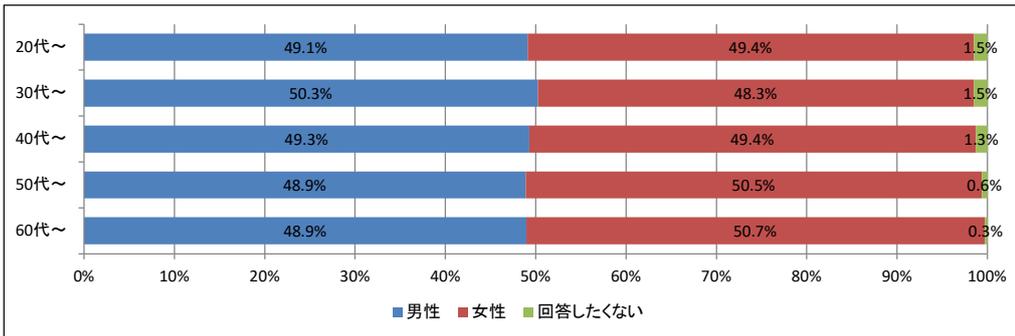
2022年度「地域と学校の連携・協働に関する国民調査」アンケート集計・グラフ
 集計母数：有効回答数(N=3000)
 クロス軸：F2年齢

【基礎調査】

F1 性別について

・性別の割合は、各年代とも男女で差はなくほぼ半数となっている。

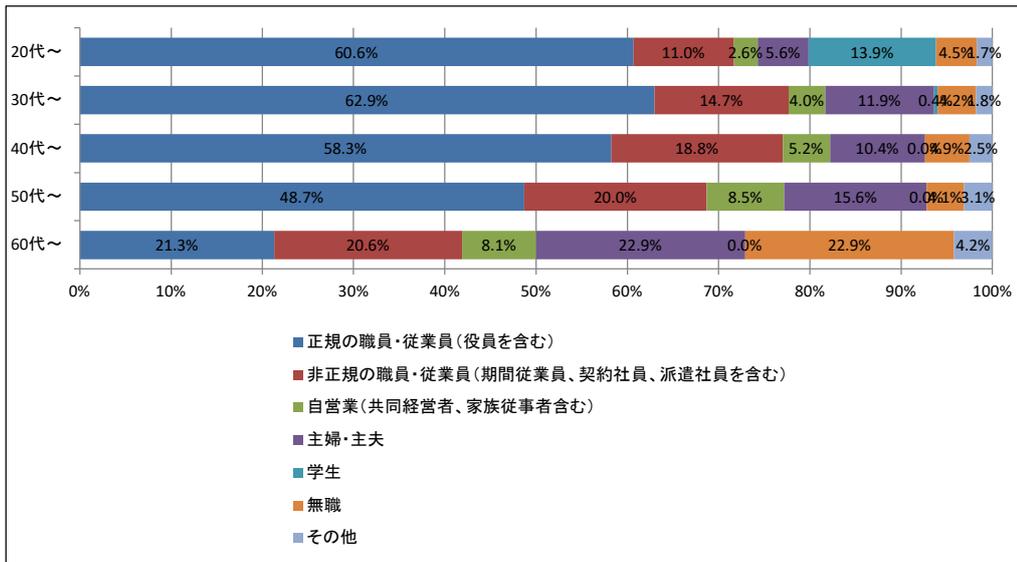
	男性	女性	回答したくない	合計	無回答
20代～	227 49.1%	228 49.4%	7 1.5%	462 100.0%	1
30代～	274 50.3%	263 48.3%	8 1.5%	545 100.0%	0
40代～	354 49.3%	355 49.4%	9 1.3%	718 100.0%	0
50代～	312 48.9%	322 50.5%	4 0.6%	638 100.0%	3
60代～	294 48.9%	305 50.7%	2 0.3%	601 100.0%	3



F3 職業について

・職業は、「正規の職員・従業員（役員を含む）」が20代から40代で約6割、50代でも5割近くを占めている。

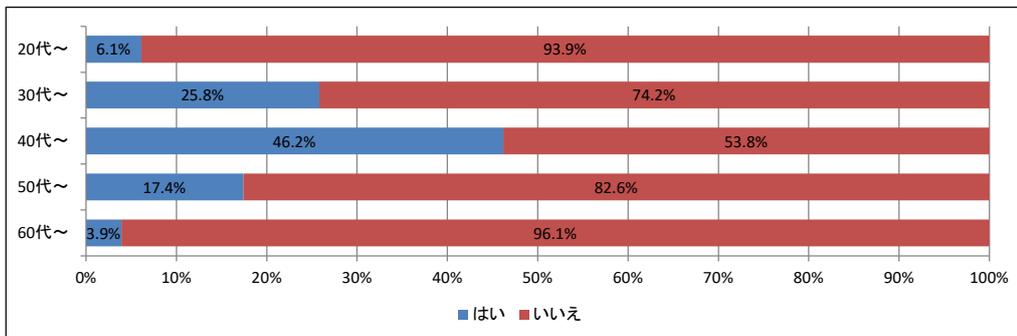
	正規の職員・従業員（役員を含む）	非正規の職員・従業員（期間従業員、契約社員、派遣社員を含む）	自営業（共同経営者、家族従事者を含む）	主婦・主夫	学生	無職	その他	合計	無回答
20代～	280 60.6%	51 11.0%	12 2.6%	26 5.6%	64 13.9%	21 4.5%	8 1.7%	462 100.0%	1
30代～	342 62.9%	80 14.7%	22 4.0%	65 11.9%	2 0.4%	23 4.2%	10 1.8%	544 100.0%	1
40代～	416 58.3%	134 18.8%	37 5.2%	74 10.4%	0 0.0%	35 4.9%	18 2.5%	714 100.0%	4
50代～	311 48.7%	128 20.0%	54 8.5%	100 15.6%	0 0.0%	26 4.1%	20 3.1%	639 100.0%	2
60代～	128 21.3%	124 20.6%	49 8.1%	138 22.9%	0 0.0%	138 22.9%	25 4.2%	602 100.0%	2



F4 現在、在学中の児童生徒(高校生まで)と同居していますか

・現在、在学中の児童生徒(高校生まで)と同居している回答者は、40代が46.2%と最も多く、次いで30代の25.8%であった。

	はい	いいえ	合計	無回答
20代～	28 6.1%	431 93.9%	459 100.0%	4
30代～	139 25.8%	400 74.2%	539 100.0%	6
40代～	324 46.2%	378 53.8%	702 100.0%	16
50代～	110 17.4%	521 82.6%	631 100.0%	10
60代～	23 3.9%	568 96.1%	591 100.0%	13

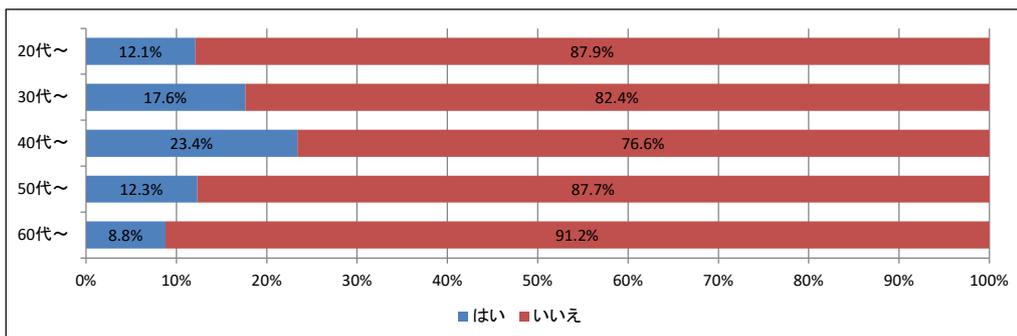


【活動】

問1 ここ1年間で子供の学びや成長を支援する活動に参加しましたか

・ここ1年間で子供の学びや成長を支援する活動に参加した回答者は、40代が23.4%と最も多く、次いで30代の17.6%であった。

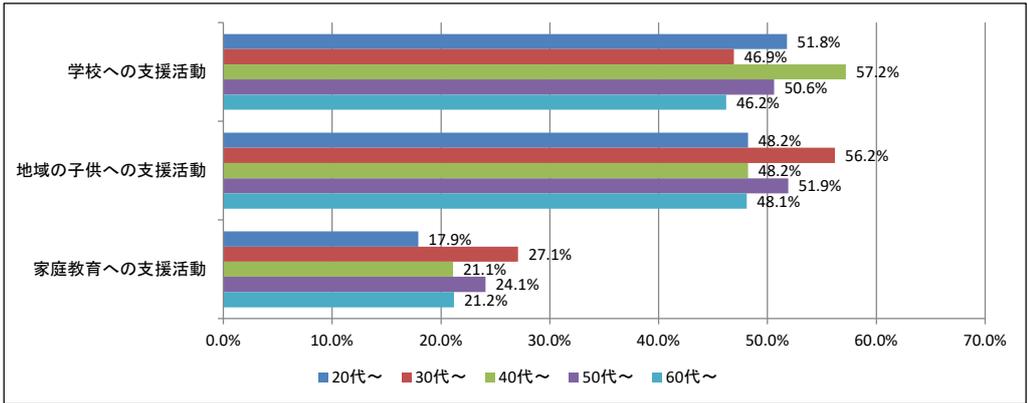
	はい	いいえ	合計	無回答
20代～	56 12.1%	407 87.9%	463 100.0%	0
30代～	96 17.6%	448 82.4%	544 100.0%	1
40代～	168 23.4%	549 76.6%	717 100.0%	1
50代～	79 12.3%	562 87.7%	641 100.0%	0
60代～	53 8.8%	550 91.2%	603 100.0%	1



問2（問1ではいと回答した方）どのような活動に参加しましたか（複数回答）

・参加された支援活動については、「学校への支援活動」は40代が最も多く、「地域の子供への支援活動」「家庭教育への支援活動」は30代が最も多くなっている。

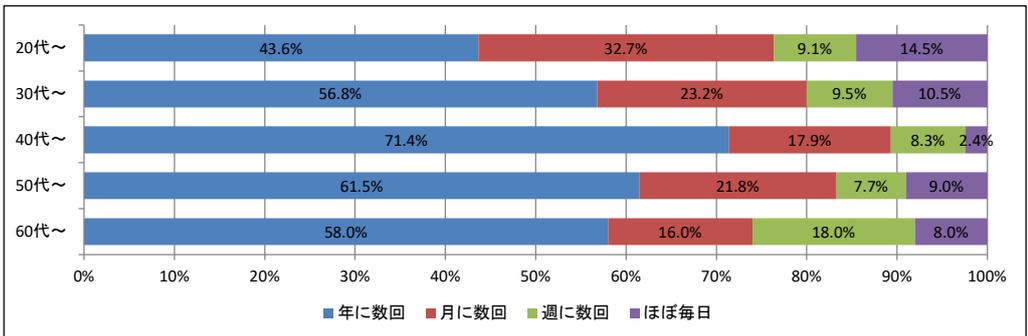
	学校への支援活動	地域の子供への支援活動	家庭教育への支援活動	(無回答=3、N値=452)
20代～	29 51.8%	27 48.2%	10 17.9%	
30代～	45 46.9%	54 56.2%	26 27.1%	
40代～	95 57.2%	80 48.2%	35 21.1%	
50代～	40 50.6%	41 51.9%	19 24.1%	
60代～	24 46.2%	25 48.1%	11 21.2%	



問3（問1ではいと回答した方）どのくらいの頻度で参加しましたか

・支援活動の参加頻度をみると、40代の「年に数回」が最も多く7割を超えている。

	年に数回	月に数回	週に数回	ほぼ毎日	合計	無回答
20代～	24 43.6%	18 32.7%	5 9.1%	8 14.5%	55 100.0%	1
30代～	54 56.8%	22 23.2%	9 9.5%	10 10.5%	95 100.0%	1
40代～	120 71.4%	30 17.9%	14 8.3%	4 2.4%	168 100.0%	0
50代～	48 61.5%	17 21.8%	6 7.7%	7 9.0%	78 100.0%	1
60代～	29 58.0%	8 16.0%	9 18.0%	4 8.0%	50 100.0%	3

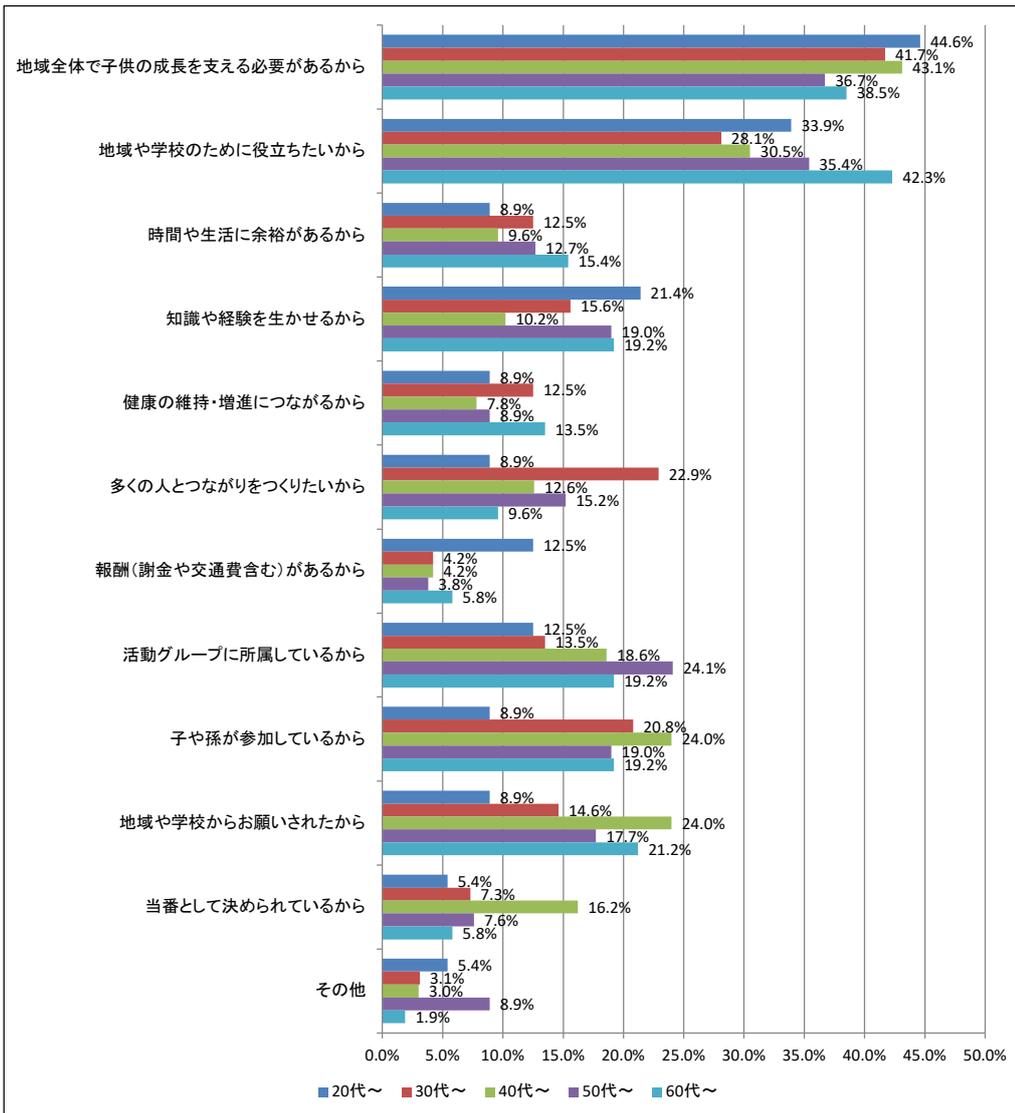


問4（問1ではいと回答した方）参加した理由について（複数回答）

・支援活動に参加した理由については、20代から50代では「地域全体で子供の成長を支える必要があるから」が最も多いが、60代では「地域や学校のために役立ちたいから」が最も多くなっている。

	地域全体で子供の成長を支える必要があるから	地域や学校のために役立ちたいから	時間や生活に余裕があるから	知識や経験を生かせるから	健康の維持・増進につながるから	多くの人とつながりをつくりたいから	報酬（謝金や交通費含む）があるから	活動グループに所属しているから	子や孫が参加しているから	地域や学校からお願いされたから	当番として決められているから	その他
20代～	25 44.6%	19 33.9%	5 8.9%	12 21.4%	5 8.9%	5 8.9%	7 12.5%	7 12.5%	5 8.9%	5 8.9%	3 5.4%	3 5.4%
30代～	40 41.7%	27 28.1%	12 12.5%	15 15.6%	12 12.5%	22 22.9%	4 4.2%	13 13.5%	20 20.8%	14 14.6%	7 7.3%	3 3.1%
40代～	72 43.1%	51 30.5%	16 9.6%	17 10.2%	13 7.8%	21 12.6%	7 4.2%	31 18.6%	40 24.0%	40 24.0%	27 16.2%	5 3.0%
50代～	29 36.7%	28 35.4%	10 12.7%	15 19.0%	7 8.9%	12 15.2%	3 3.8%	19 24.1%	15 19.0%	14 17.7%	6 7.6%	7 8.9%
60代～	20 38.5%	22 42.3%	8 15.4%	10 19.2%	7 13.5%	5 9.6%	3 5.8%	10 19.2%	10 19.2%	11 21.2%	3 5.8%	1 1.9%

（無回答=2、N値=453）

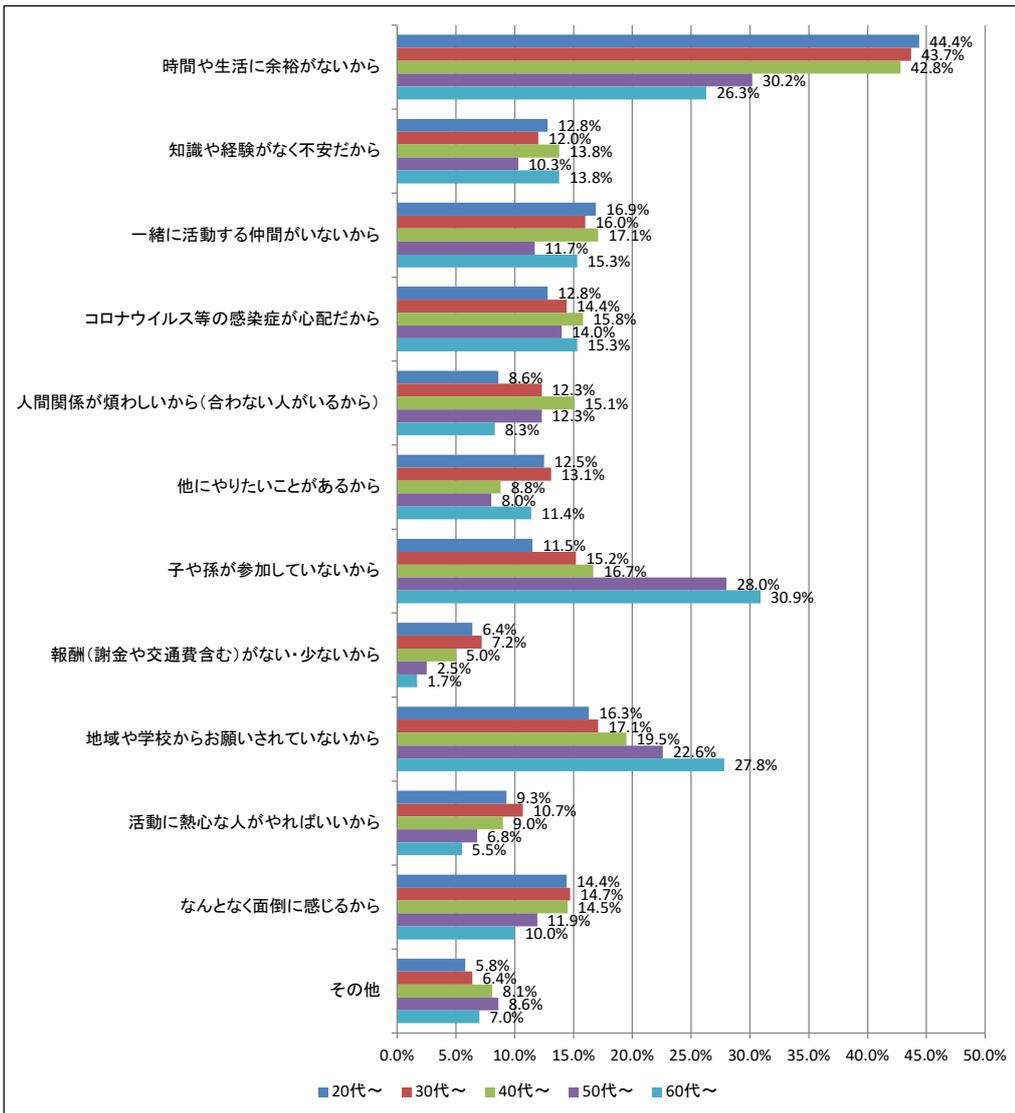


問5（問1でいいえと回答した方）参加していない理由について（複数回答）

・支援活動に参加していない理由については、「時間や生活に余裕がないから」が、20代から40代では4割以上と最も多くなっている。「子や孫が参加していないから」という理由では50代と60代が他の年代に大きく差をつけている。

	時間や生活に余裕がないから	知識や経験がなく不安だから	一緒に活動する仲間がいないから	コロナウイルス等の感染症が心配だから	人間関係が煩わしいから（合わない人がいるから）	他にやりたいことがあるから	子や孫が参加していないから	報酬（謝金や交通費含む）が少ないから	地域や学校からお願いされていないから	活動に熱心な人がやればよいから	なんとなく面倒に感じるから	その他
20代～	139 44.4%	40 12.8%	53 16.9%	40 12.8%	27 8.6%	39 12.5%	36 11.5%	20 6.4%	51 16.3%	29 9.3%	45 14.4%	18 5.8%
30代～	164 43.7%	45 12.0%	60 16.0%	54 14.4%	46 12.3%	49 13.1%	57 15.2%	27 7.2%	64 17.1%	40 10.7%	55 14.7%	24 6.4%
40代～	195 42.8%	63 13.8%	78 17.1%	72 15.8%	69 15.1%	40 8.8%	76 16.7%	23 5.0%	89 19.5%	41 9.0%	66 14.5%	37 8.1%
50代～	147 30.2%	50 10.3%	57 11.7%	68 14.0%	60 12.3%	39 8.0%	136 28.0%	12 2.5%	110 22.6%	33 6.8%	58 11.9%	42 8.6%
60代～	124 26.3%	65 13.8%	72 15.3%	72 15.3%	39 8.3%	54 11.4%	146 30.9%	8 1.7%	131 27.8%	26 5.5%	47 10.0%	33 7.0%

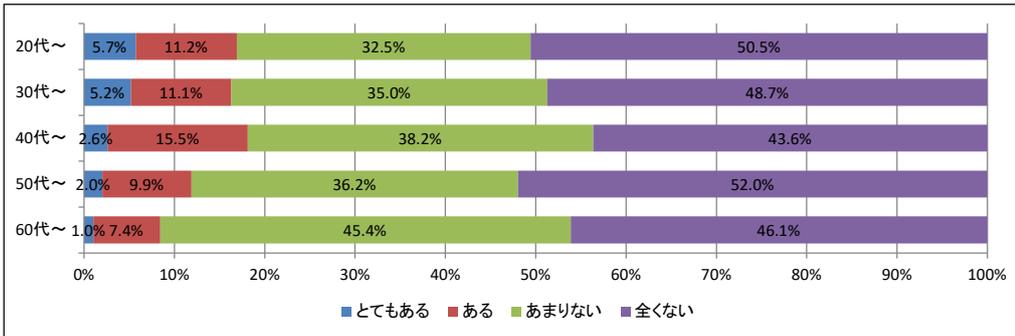
（無回答
=420、N値
=2120）



問6 地域の子供の成長に、自身が貢献している実感はありますか

・地域の子供の成長に貢献している実感については、「とてもある」「ある」と回答した40代が18.1%と最も多い。

	とてもある	ある	あまりない	全くない	合計	無回答
20代～	24 5.7%	47 11.2%	136 32.5%	211 50.5%	418 100.0%	45
30代～	27 5.2%	57 11.1%	180 35.0%	251 48.7%	515 100.0%	30
40代～	18 2.6%	106 15.5%	261 38.2%	298 43.6%	683 100.0%	35
50代～	12 2.0%	61 9.9%	222 36.2%	319 52.0%	614 100.0%	27
60代～	6 1.0%	43 7.4%	263 45.4%	267 46.1%	579 100.0%	25

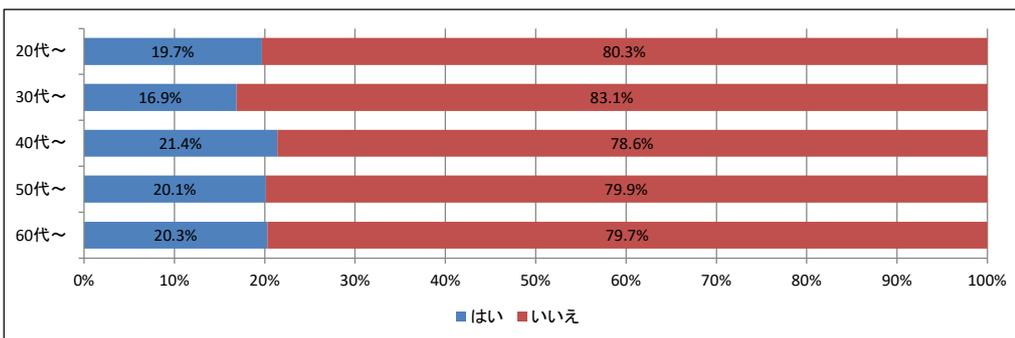


【認識】

問7 コミュニティ・スクールまたは学校運営協議会という言葉を知っていますか

・『コミュニティ・スクール』の認知度は、30代が16.9%と最も低い。

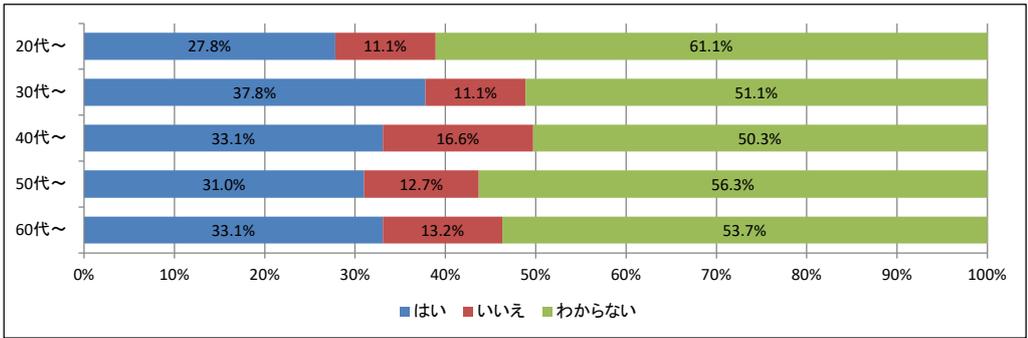
	はい	いいえ	合計	無回答
20代～	90 19.7%	366 80.3%	456 100.0%	7
30代～	91 16.9%	446 83.1%	537 100.0%	8
40代～	152 21.4%	559 78.6%	711 100.0%	7
50代～	128 20.1%	510 79.9%	638 100.0%	3
60代～	121 20.3%	476 79.7%	597 100.0%	7



問8 (問7ではいと回答した方)住んでいる地域にコミュニティ・スクールはありますか

・住んでいる地域に『コミュニティ・スクール』があると回答した方は、30代が37.8%と最も多くなっている。「わからない」と答えた方は、各年代とも半数以上であった。

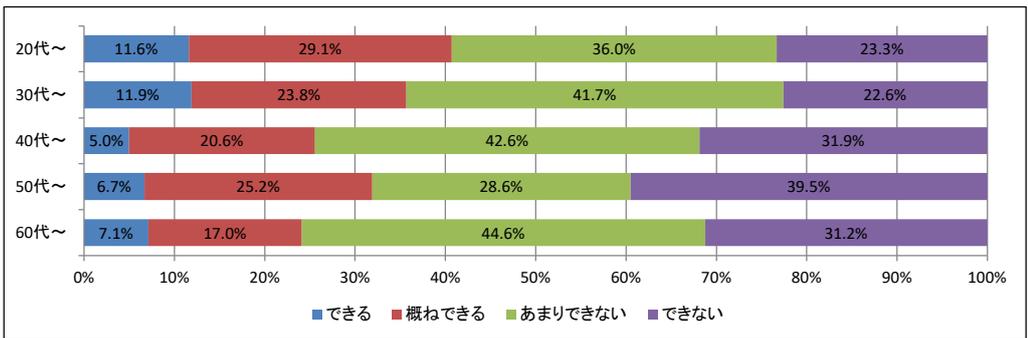
	はい	いいえ	わからない	合計	無回答
20代～	25 27.8%	10 11.1%	55 61.1%	90 100.0%	0
30代～	34 37.8%	10 11.1%	46 51.1%	90 100.0%	1
40代～	50 33.1%	25 16.6%	76 50.3%	151 100.0%	1
50代～	39 31.0%	16 12.7%	71 56.3%	126 100.0%	2
60代～	40 33.1%	16 13.2%	65 53.7%	121 100.0%	0



問9 (問7ではいと回答した方)コミュニティ・スクールまたは学校運営協議会について、どのような仕組みであるか説明することができますか

・『コミュニティ・スクール』の仕組みを説明できる(「できる」+「概ねできる」)と回答された方は、20代が40.7%と最も多く、次いで30代の35.7%であった。

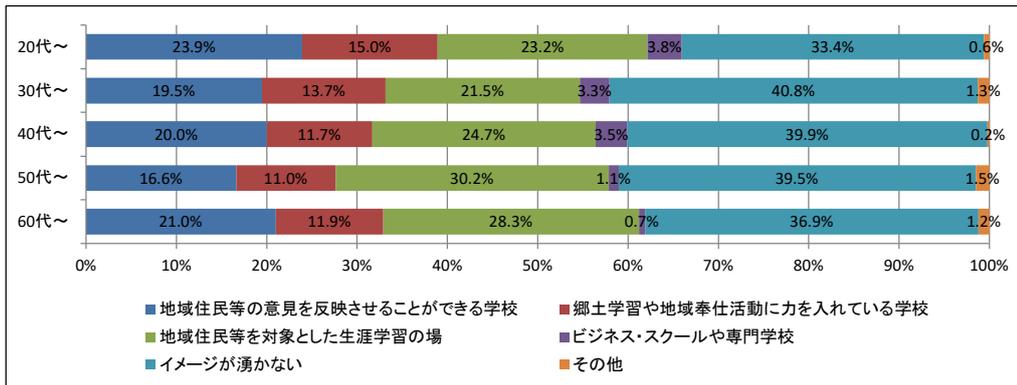
	できる	概ねできる	あまりできない	できない	合計	無回答
20代～	10 11.6%	25 29.1%	31 36.0%	20 23.3%	86 100.0%	4
30代～	10 11.9%	20 23.8%	35 41.7%	19 22.6%	84 100.0%	7
40代～	7 5.0%	29 20.6%	60 42.6%	45 31.9%	141 100.0%	11
50代～	8 6.7%	30 25.2%	34 28.6%	47 39.5%	119 100.0%	9
60代～	8 7.1%	19 17.0%	50 44.6%	35 31.2%	112 100.0%	9



問10 (問7でいいえと回答した方)コミュニティ・スクールという言葉からどのようなイメージを受けますか

・『コミュニティ・スクール』という言葉のイメージについては、どの年代も「イメージが湧かない」が最も多い。次いで各年代で「地域住民等を対象とした生涯学習の場」が多くなっているが、特に50代で3割を占めている。

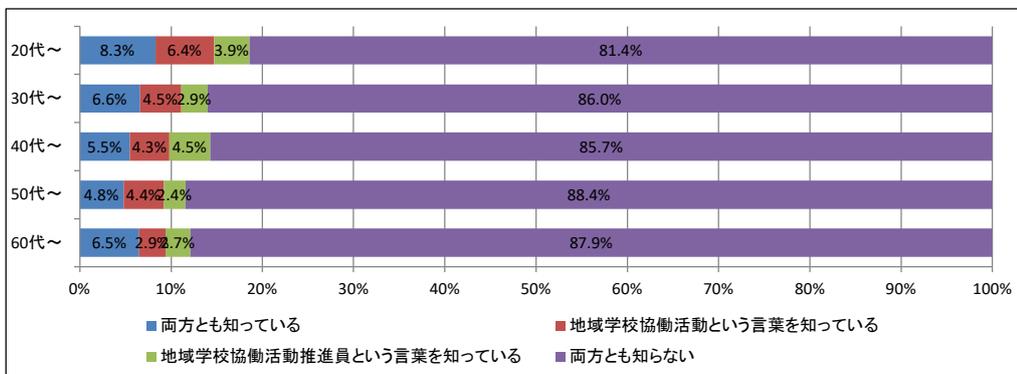
	地域住民等の意見を反映させることができる学校	郷土学習や地域奉仕活動に力を入れている学校	地域住民等を対象とした生涯学習の場	ビジネス・スクールや専門学校	イメージが湧かない	その他	合計	無回答
20代～	75 23.9%	47 15.0%	73 23.2%	12 3.8%	105 33.4%	2 0.6%	314	52
30代～	77 19.5%	54 13.7%	85 21.5%	13 3.3%	161 40.8%	5 1.3%	395	51
40代～	97 20.0%	57 11.7%	120 24.7%	17 3.5%	194 39.9%	1 0.2%	486	73
50代～	75 16.6%	50 11.0%	137 30.2%	5 1.1%	179 39.5%	7 1.5%	453	57
60代～	90 21.0%	51 11.9%	121 28.3%	3 0.7%	158 36.9%	5 1.2%	428	48



問11 地域学校協働活動や地域学校協働活動推進員という言葉を知っていますか

・『地域学校協働活動』や『地域学校協働活動推進員』という言葉の両方あるいはどちらかを知っていると答えた方は、20代が18.6%と最も多く、最も少ないのは60代で2.9%であった。

	両方とも知っている	地域学校協働活動という言葉を知っている	地域学校協働活動推進員という言葉を知っている	両方とも知らない	合計	無回答
20代～	36 8.3%	28 6.4%	17 3.9%	354 81.4%	435	28
30代～	34 6.6%	23 4.5%	15 2.9%	442 86.0%	514	31
40代～	38 5.5%	30 4.3%	31 4.5%	592 85.7%	691	27
50代～	30 4.8%	27 4.4%	15 2.4%	547 88.4%	619	22
60代～	38 6.5%	17 2.9%	16 2.7%	514 87.9%	585	19



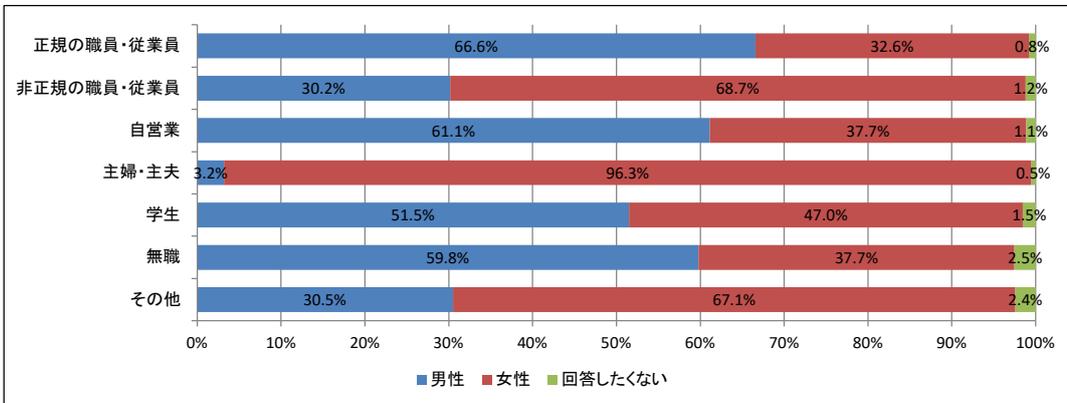
2022年度「地域と学校の連携・協働に関する国民調査」アンケート集計・グラフ
 集計母数：有効回答数(N=3000)
 クロス軸：F3職業

【基礎調査】

F1 性別について

・主婦・主夫の方は「男性」が3.2%、「女性」が96.3%と大きく差があった。また、正規、非正規で男女の割合が逆転している。

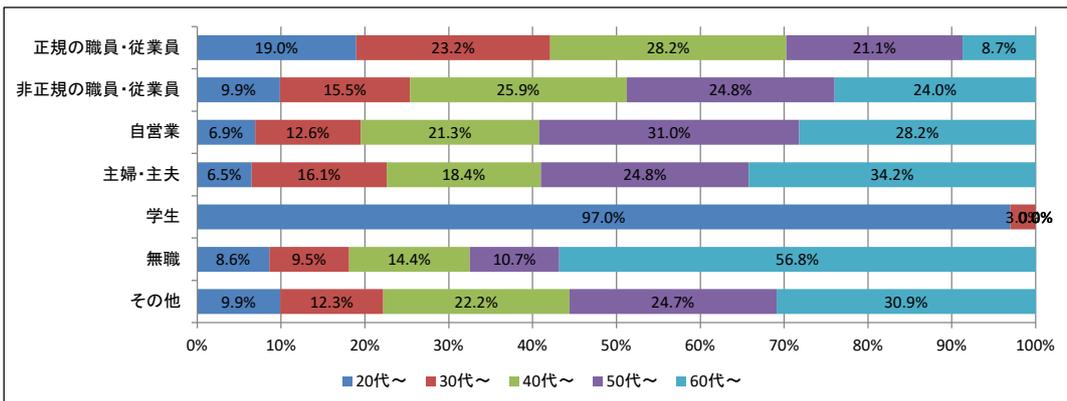
	男性	女性	回答したくない	合計	無回答
正規の職員・従業員	991 66.6%	485 32.6%	12 0.8%	1488 100.0%	3
非正規の職員・従業員	157 30.2%	357 68.7%	6 1.2%	520 100.0%	1
自営業	107 61.1%	66 37.7%	2 1.1%	175 100.0%	1
主婦・主夫	13 3.2%	389 96.3%	2 0.5%	404 100.0%	1
学生	34 51.5%	31 47.0%	1 1.5%	66 100.0%	0
無職	146 59.8%	92 37.7%	6 2.5%	244 100.0%	2
その他	25 30.5%	55 67.1%	2 2.4%	82 100.0%	0



F2 年齢について

・非正規の職員・従業員は30代以下(20代+30代)、40代、50代、60代が全て25%前後とほぼ同じ割合となっている。

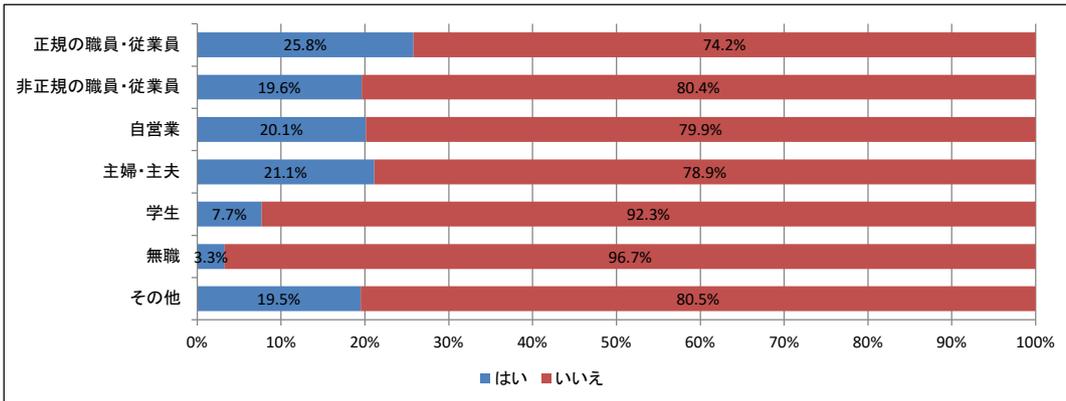
	20代～	30代～	40代～	50代～	60代～	合計	無回答
正規の職員・従業員	280 19.0%	342 23.2%	416 28.2%	311 21.1%	128 8.7%	1477 100.0%	14
非正規の職員・従業員	51 9.9%	80 15.5%	134 25.9%	128 24.8%	124 24.0%	517 100.0%	4
自営業	12 6.9%	22 12.6%	37 21.3%	54 31.0%	49 28.2%	174 100.0%	2
主婦・主夫	26 6.5%	65 16.1%	74 18.4%	100 24.8%	138 34.2%	403 100.0%	2
学生	64 97.0%	2 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	66 100.0%	0
無職	21 8.6%	23 9.5%	35 14.4%	26 10.7%	138 56.8%	243 100.0%	3
その他	8 9.9%	10 12.3%	18 22.2%	20 24.7%	25 30.9%	81 100.0%	1



F4 現在、在学中の児童生徒(高校生まで)と同居していますか

・現在、在学中の児童生徒(高校生まで)と同居している回答者は、正規の職員・従業員が25.8%で一番多く、無職は3.3%と一番低くなっている。

	はい	いいえ	合計	無回答
正規の職員・従業員	377 25.8%	1085 74.2%	1462 100.0%	29
非正規の職員・従業員	100 19.6%	410 80.4%	510 100.0%	11
自営業	35 20.1%	139 79.9%	174 100.0%	2
主婦・主夫	84 21.1%	315 78.9%	399 100.0%	6
学生	5 7.7%	60 92.3%	65 100.0%	1
無職	8 3.3%	237 96.7%	245 100.0%	1
その他	16 19.5%	66 80.5%	82 100.0%	0

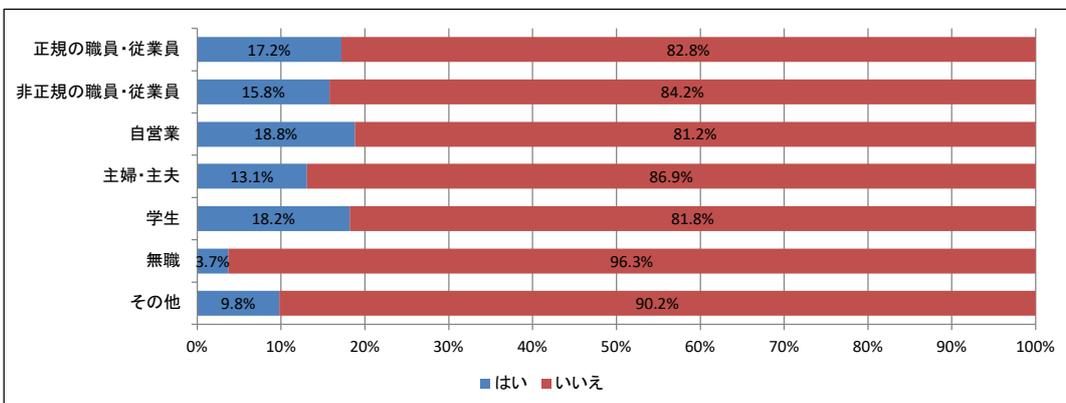


【活動】

問1 ここ1年間で子供の学びや成長を支援する活動に参加しましたか

・ここ1年間で子供の学びや成長を支援する活動に参加した回答者は、自営業が18.8%と一番高くなっている。

	はい	いいえ	合計	無回答
正規の職員・従業員	256 17.2%	1234 82.8%	1490 100.0%	1
非正規の職員・従業員	82 15.8%	437 84.2%	519 100.0%	2
自営業	33 18.8%	143 81.2%	176 100.0%	0
主婦・主夫	53 13.1%	351 86.9%	404 100.0%	1
学生	12 18.2%	54 81.8%	66 100.0%	0
無職	9 3.7%	237 96.3%	246 100.0%	0
その他	8 9.8%	74 90.2%	82 100.0%	0

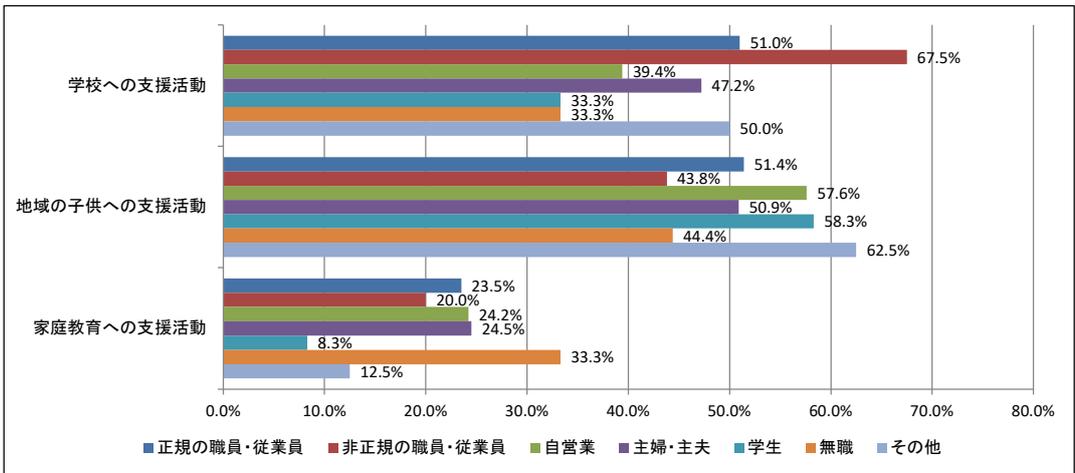


問2（問1ではいと回答した方）どのような活動に参加しましたか（複数回答）

・参加された支援活動については、非正規の職員・従業員の方の「学校への支援活動」が多く目立っている。

	学校への支援活動	地域の子供への支援活動	家庭教育への支援活動
正規の職員・従業員	130 51.0%	131 51.4%	60 23.5%
非正規の職員・従業員	54 67.5%	35 43.8%	16 20.0%
自営業	13 39.4%	19 57.6%	8 24.2%
主婦・主夫	25 47.2%	27 50.9%	13 24.5%
学生	4 33.3%	7 58.3%	1 8.3%
無職	3 33.3%	4 44.4%	3 33.3%
その他	4 50.0%	5 62.5%	1 12.5%

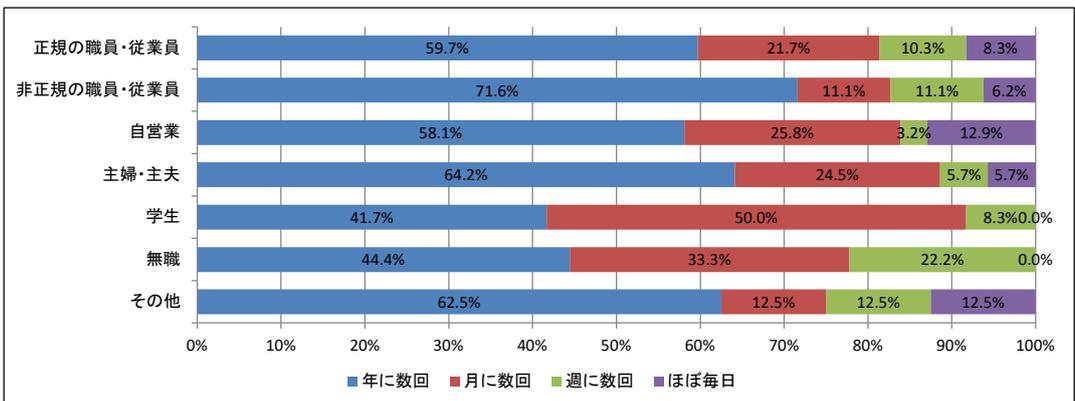
(無回答=3、N値=452)



問3（問1ではいと回答した方）どのくらいの頻度で参加しましたか

・支援活動の参加頻度をみると、非正規の職員・従業員の方の「年に数回」が最も多く7割を超えている。

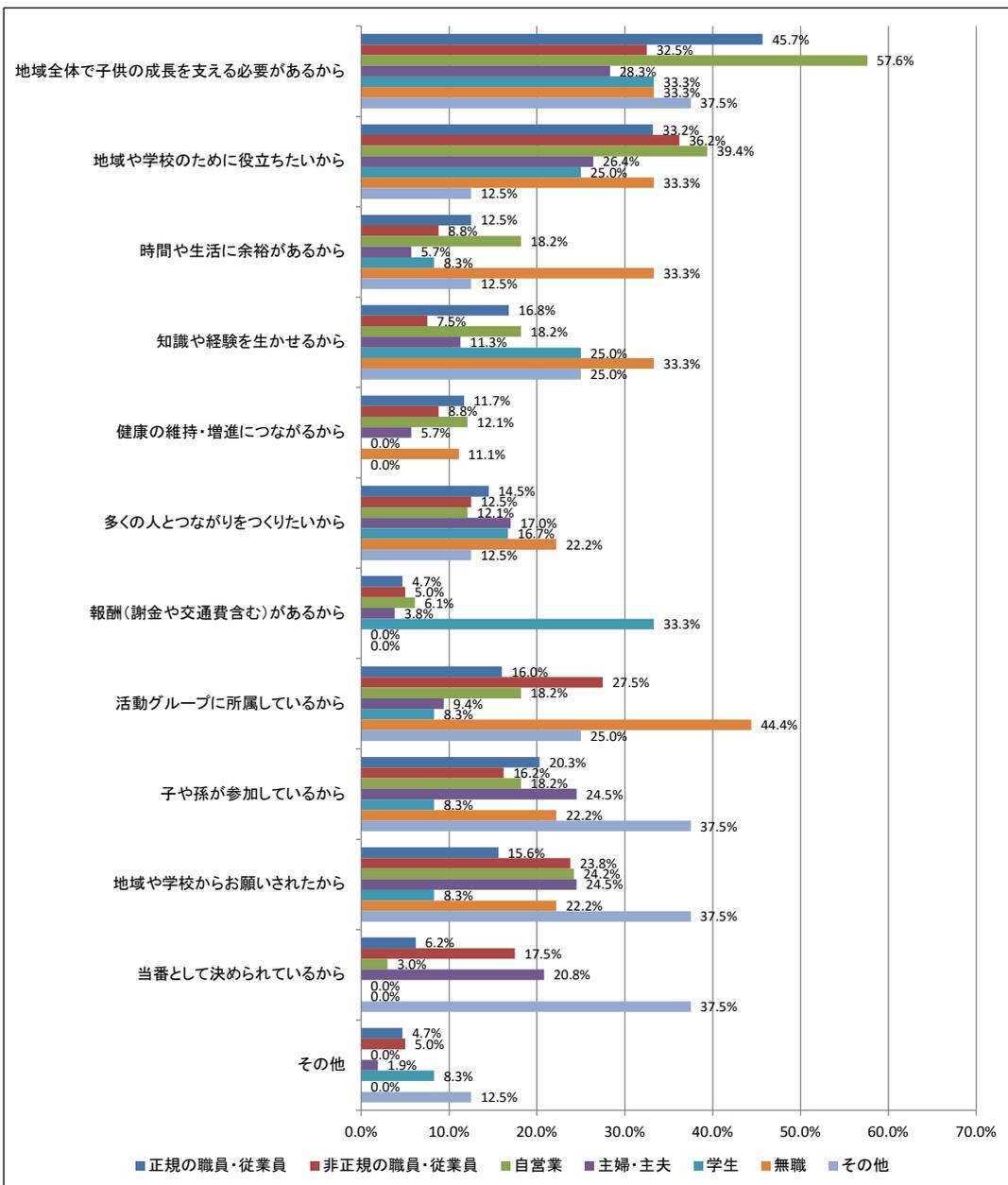
	年に数回	月に数回	週に数回	ほぼ毎日	合計	無回答
正規の職員・従業員	151 59.7%	55 21.7%	26 10.3%	21 8.3%	253 100.0%	3
非正規の職員・従業員	58 71.6%	9 11.1%	9 11.1%	5 6.2%	81 100.0%	1
自営業	18 58.1%	8 25.8%	1 3.2%	4 12.9%	31 100.0%	2
主婦・主夫	34 64.2%	13 24.5%	3 5.7%	3 5.7%	53 100.0%	0
学生	5 41.7%	6 50.0%	1 8.3%	0 0.0%	12 100.0%	0
無職	4 44.4%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%	9 100.0%	0
その他	5 62.5%	1 12.5%	1 12.5%	1 12.5%	8 100.0%	0



問4（問1ではいと回答した方）参加した理由について（複数回答）

・支援活動に参加した理由については、自営業の「地域全体で子供の成長を支える必要があるから」が57.6%と多く、目立っている。

	地域全体で子供の成長を支える必要があるから	地域や学校のために役立ちたいから	時間や生活に余裕があるから	知識や経験を生かせるから	健康の維持・増進につながるから	多くの人とつながりをつくりたいから	報酬（謝金や交通費含む）があるから	活動グループに所属しているから	子や孫が参加しているから	地域や学校からお願いされたから	当番として決められているから	その他	(無回答=2、N値=453)
正規の職員・従業員	117 45.7%	85 33.2%	32 12.5%	43 16.8%	30 11.7%	37 14.5%	12 4.7%	41 16.0%	52 20.3%	40 15.6%	16 6.2%	12 4.7%	
非正規の職員・従業員	26 32.5%	29 36.2%	7 8.8%	6 7.5%	7 8.8%	10 12.5%	4 5.0%	22 27.5%	13 16.2%	19 23.8%	14 17.5%	4 5.0%	
自営業	19 57.6%	13 39.4%	6 18.2%	6 18.2%	4 12.1%	4 12.1%	2 6.1%	6 18.2%	6 18.2%	8 24.2%	1 3.0%	0 0.0%	
主婦・主夫	15 28.3%	14 26.4%	3 5.7%	6 11.3%	3 5.7%	9 17.0%	2 3.8%	5 9.4%	13 24.5%	13 24.5%	11 20.8%	1 1.9%	
学生	4 33.3%	3 25.0%	1 8.3%	3 25.0%	0 0.0%	2 16.7%	4 33.3%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	1 8.3%	
無職	3 33.3%	3 33.3%	3 33.3%	3 33.3%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	
その他	3 37.5%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	2 25.0%	3 37.5%	3 37.5%	3 37.5%	1 12.5%	

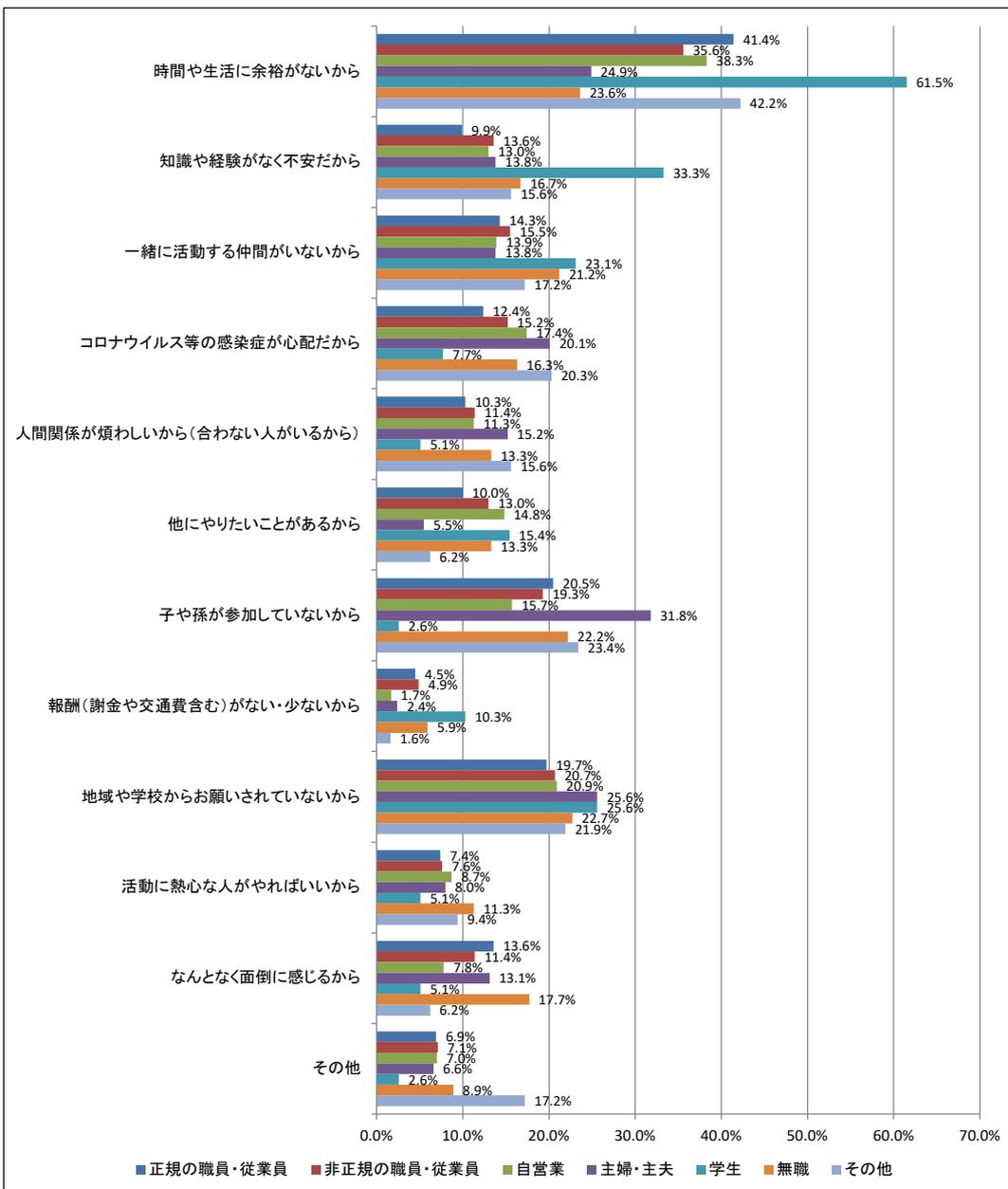


問5（問1でいいえと回答した方）参加していない理由について（複数回答）

・支援活動に参加していない理由については、正規の職員・従業員の41.4%が「時間や生活に余裕がないから」と回答している。「子や孫が参加していないから」という理由では、主婦・主夫が31.8%と高い割合となっている。

	時間や生活に余裕がないから	知識や経験がなく不安だから	一緒に活動する仲間がいないから	コロナウイルス等の感染症が心配だから	人間関係が煩わしいから（合わない人がいるから）	他にやりたいことがあるから	子や孫が参加していないから	報酬（謝金や交通費含む）がない・少ないから	地域や学校からお願ひされていないから	活動に熱心な人がやればよいから	なんとなく面倒に感じるから	その他
正規の職員・従業員	429 41.4%	102 9.9%	148 14.3%	128 12.4%	107 10.3%	104 10.0%	212 20.5%	47 4.5%	204 19.7%	77 7.4%	141 13.6%	71 6.9%
非正規の職員・従業員	131 35.6%	50 13.6%	57 15.5%	56 15.2%	42 11.4%	48 13.0%	71 19.3%	18 4.9%	76 20.7%	28 7.6%	42 11.4%	26 7.1%
自営業	44 38.3%	15 13.0%	16 13.9%	20 17.4%	13 11.3%	17 14.8%	18 15.7%	2 1.7%	24 20.9%	10 8.7%	9 7.8%	8 7.0%
主婦・主夫	72 24.9%	40 13.8%	40 13.8%	58 20.1%	44 15.2%	16 5.5%	92 31.8%	7 2.4%	74 25.6%	23 8.0%	38 13.1%	19 6.6%
学生	24 61.5%	13 33.3%	9 23.1%	3 7.7%	2 5.1%	6 15.4%	1 2.6%	4 10.3%	10 25.6%	2 5.1%	2 5.1%	1 2.6%
無職	48 23.6%	34 16.7%	43 21.2%	33 16.3%	27 13.3%	27 13.3%	45 22.2%	12 5.9%	46 22.7%	23 11.3%	36 17.7%	18 8.9%
その他	27 42.2%	10 15.6%	11 17.2%	13 20.3%	10 15.6%	4 6.2%	15 23.4%	1 1.6%	14 21.9%	6 9.4%	4 6.2%	11 17.2%

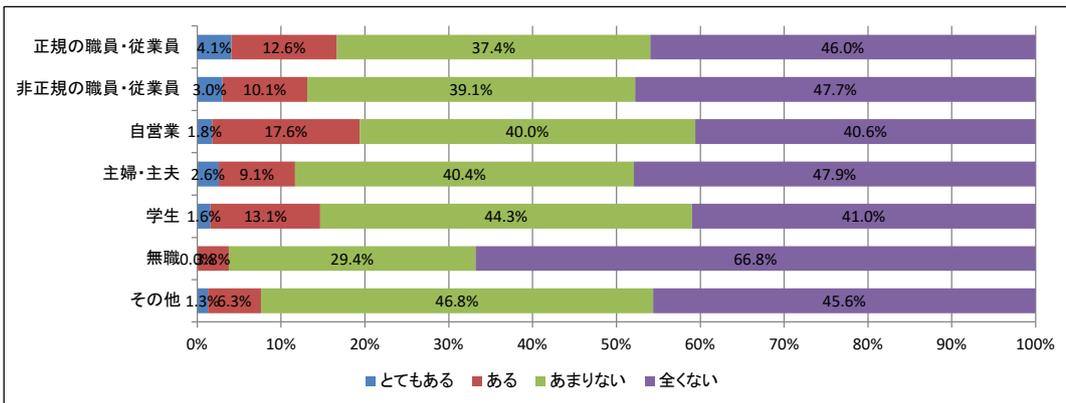
(無回答=420、N値=2120)



問6 地域の子供の成長に、自身が貢献している実感はありますか

・地域の子供の成長に貢献している実感については、自営業の方の「とてもある」「ある」の割合が高く、19.4%となっている。

	とてもある	ある	あまりない	全くない	合計	無回答
正規の職員・従業員	57 4.1%	177 12.6%	525 37.4%	646 46.0%	1405 100.0%	86
非正規の職員・従業員	15 3.0%	50 10.1%	193 39.1%	235 47.7%	493 100.0%	28
自営業	3 1.8%	29 17.6%	66 40.0%	67 40.6%	165 100.0%	11
主婦・主夫	10 2.6%	35 9.1%	155 40.4%	184 47.9%	384 100.0%	21
学生	1 1.6%	8 13.1%	27 44.3%	25 41.0%	61 100.0%	5
無職	0 0.0%	9 3.8%	69 29.4%	157 66.8%	235 100.0%	11
その他	1 1.3%	5 6.3%	37 46.8%	36 45.6%	79 100.0%	3

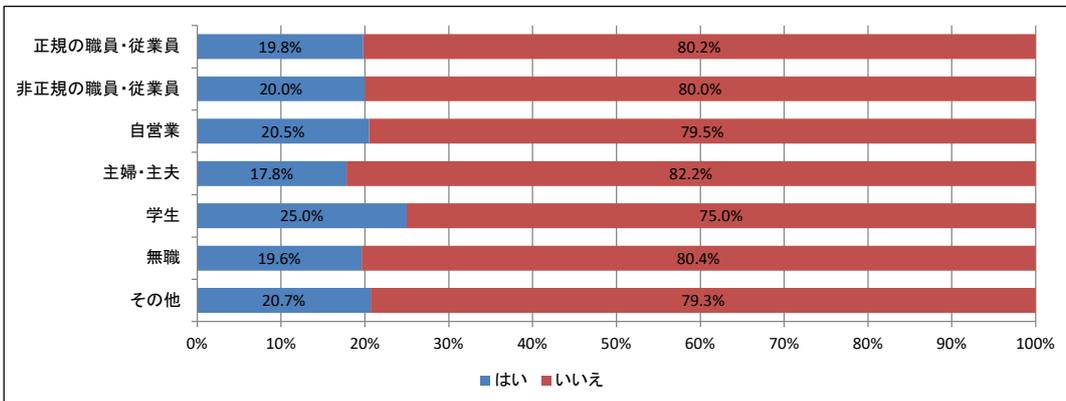


【認識】

問7 コミュニティ・スクールまたは学校運営協議会という言葉を知っていますか

・『コミュニティ・スクール』の認知度はどの職業も20%前後で大きな差はみられないが、学生のみ25%とやや多くなっている。

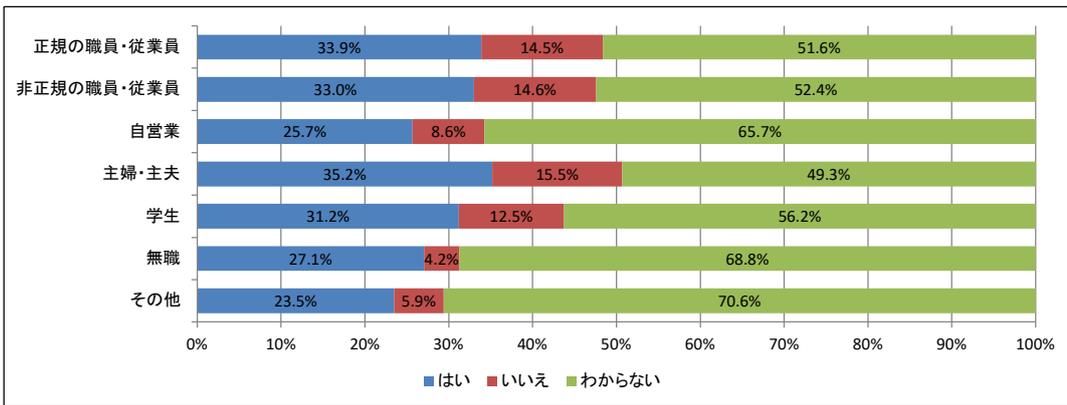
	はい	いいえ	合計	無回答
正規の職員・従業員	293 19.8%	1186 80.2%	1479 100.0%	12
非正規の職員・従業員	103 20.0%	412 80.0%	515 100.0%	6
自営業	35 20.5%	136 79.5%	171 100.0%	5
主婦・主夫	71 17.8%	328 82.2%	399 100.0%	6
学生	16 25.0%	48 75.0%	64 100.0%	2
無職	48 19.6%	197 80.4%	245 100.0%	1
その他	17 20.7%	65 79.3%	82 100.0%	0



問8 (問7ではいと回答した方)住んでいる地域にコミュニティ・スクールはありますか

・住んでいる地域に『コミュニティ・スクール』があると回答した方は、主婦・主夫の35.2%が最も多く、正規の職員・従業員、非正規の職員・従業員、学生が3割を超えている。

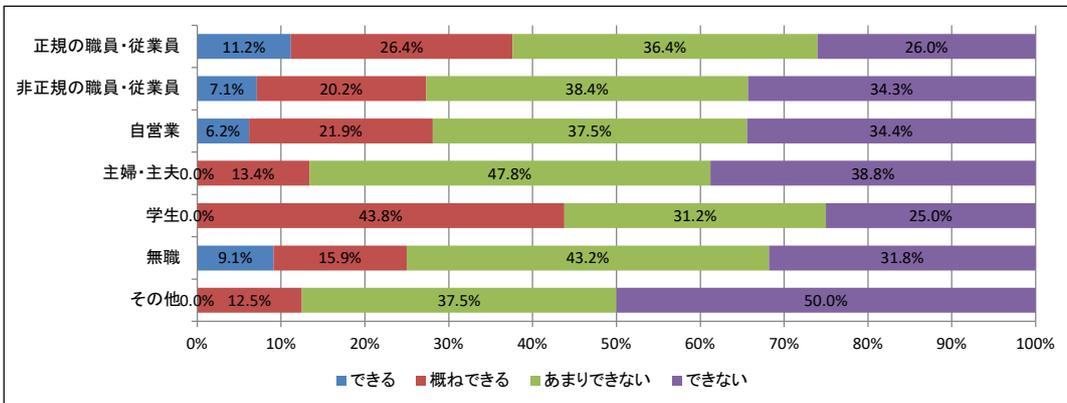
	はい	いいえ	わからない	合計	無回答
正規の職員・従業員	98 33.9%	42 14.5%	149 51.6%	289 100.0%	4
非正規の職員・従業員	34 33.0%	15 14.6%	54 52.4%	103 100.0%	0
自営業	9 25.7%	3 8.6%	23 65.7%	35 100.0%	0
主婦・主夫	25 35.2%	11 15.5%	35 49.3%	71 100.0%	0
学生	5 31.2%	2 12.5%	9 56.2%	16 100.0%	0
無職	13 27.1%	2 4.2%	33 68.8%	48 100.0%	0
その他	4 23.5%	1 5.9%	12 70.6%	17 100.0%	0



問9 (問7ではいと回答した方)コミュニティ・スクールまたは学校運営協議会について、どのような仕組みであるか説明することができますか

・『コミュニティ・スクール』の仕組みを説明できる(「できる」+「概ねできる」と)回答された方は、正規の職員・従業員が37.6%と多い。

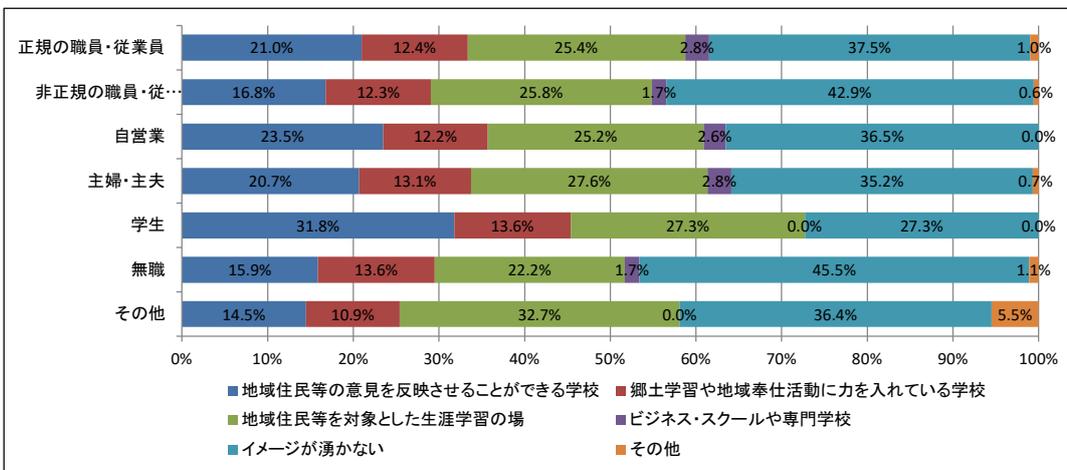
	できる	概ねできる	あまりできない	できない	合計	無回答
正規の職員・従業員	30 11.2%	71 26.4%	98 36.4%	70 26.0%	269 100.0%	24
非正規の職員・従業員	7 7.1%	20 20.2%	38 38.4%	34 34.3%	99 100.0%	4
自営業	2 6.2%	7 21.9%	12 37.5%	11 34.4%	32 100.0%	3
主婦・主夫	0 0.0%	9 13.4%	32 47.8%	26 38.8%	67 100.0%	4
学生	0 0.0%	7 43.8%	5 31.2%	4 25.0%	16 100.0%	0
無職	4 9.1%	7 15.9%	19 43.2%	14 31.8%	44 100.0%	4
その他	0 0.0%	2 12.5%	6 37.5%	8 50.0%	16 100.0%	1



問10（問7でいいえと回答した方）コミュニティ・スクールという言葉からどのようなイメージを受けますか

・『コミュニティ・スクール』という言葉のイメージについては、どの職業の方も「地域住民等を対象とした生涯学習の場」の割合が高くなっている。

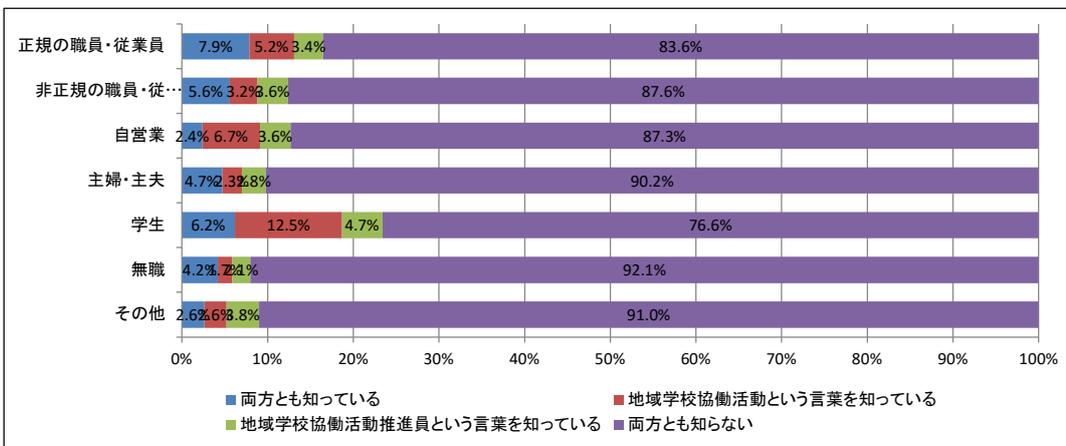
	地域住民等の意見を反映させることができる学校	郷土学習や地域奉仕活動に力を入れている学校	地域住民等を対象とした生涯学習の場	ビジネス・スクールや専門学校	イメージが湧かない	その他	合計	無回答
正規の職員・従業員	221 21.0%	130 12.4%	267 25.4%	29 2.8%	394 37.5%	11 1.0%	1052	134
非正規の職員・従業員	60 16.8%	44 12.3%	92 25.8%	6 1.7%	153 42.9%	2 0.6%	357	55
自営業	27 23.5%	14 12.2%	29 25.2%	3 2.6%	42 36.5%	0 0.0%	115	21
主婦・主夫	60 20.7%	38 13.1%	80 27.6%	8 2.8%	102 35.2%	2 0.7%	290	38
学生	14 31.8%	6 13.6%	12 27.3%	0 0.0%	12 27.3%	0 0.0%	44	4
無職	28 15.9%	24 13.6%	39 22.2%	3 1.7%	80 45.5%	2 1.1%	176	21
その他	8 14.5%	6 10.9%	18 32.7%	0 0.0%	20 36.4%	3 5.5%	55	10



問11 地域学校協働活動や地域学校協働活動推進員という言葉を知っていますか

・『地域学校協働活動』や『地域学校協働活動推進員』という言葉の両方あるいはどちらかを知っていると答えた方は、学生が23.4%と最も多く、次いで正規の職員・従業員が16.5%となっている。

	両方とも 知っている	地域学校 協働活動 という言葉を知 っている	地域学校 協働活動 推進員と いう言葉を知 っている	両方とも 知らない	合計	無回答
正規の職員・従業員	113 7.9%	74 5.2%	48 3.4%	1194 83.6%	1429 100.0%	62
非正規の職員・従業員	28 5.6%	16 3.2%	18 3.6%	436 87.6%	498 100.0%	23
自営業	4 2.4%	11 6.7%	6 3.6%	144 87.3%	165 100.0%	11
主婦・主夫	18 4.7%	9 2.3%	11 2.8%	349 90.2%	387 100.0%	18
学生	4 6.2%	8 12.5%	3 4.7%	49 76.6%	64 100.0%	2
無職	10 4.2%	4 1.7%	5 2.1%	220 92.1%	239 100.0%	7
その他	2 2.6%	2 2.6%	3 3.8%	71 91.0%	78 100.0%	4



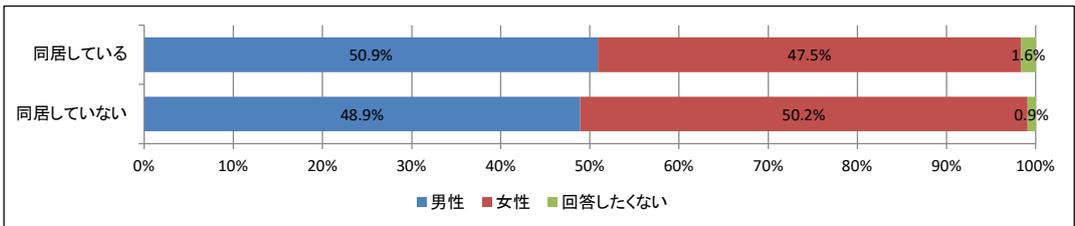
2022年度「地域と学校の連携・協働に関する国民調査」アンケート集計・グラフ
 集計母数：有効回答数(N=3000)
 クロス軸：F4同居

【基礎調査】

F1 性別について

・性別の割合は、同居の有無で差はなくほぼ半数となっている。

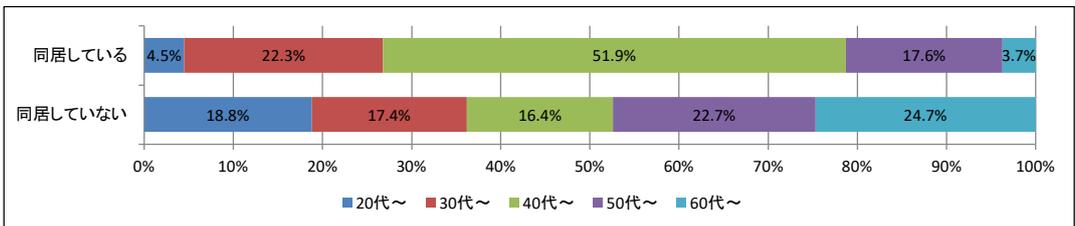
	男性	女性	回答したくない	合計	無回答
同居している	320 50.9%	299 47.5%	10 1.6%	629 100.0%	0
同居していない	1131 48.9%	1160 50.2%	20 0.9%	2311 100.0%	7



F2 年齢について

・同居している層では、「40代～」が51.9%と最も多くなっている。一方同居していない層の「40代～」は16.4%と一番少ない。

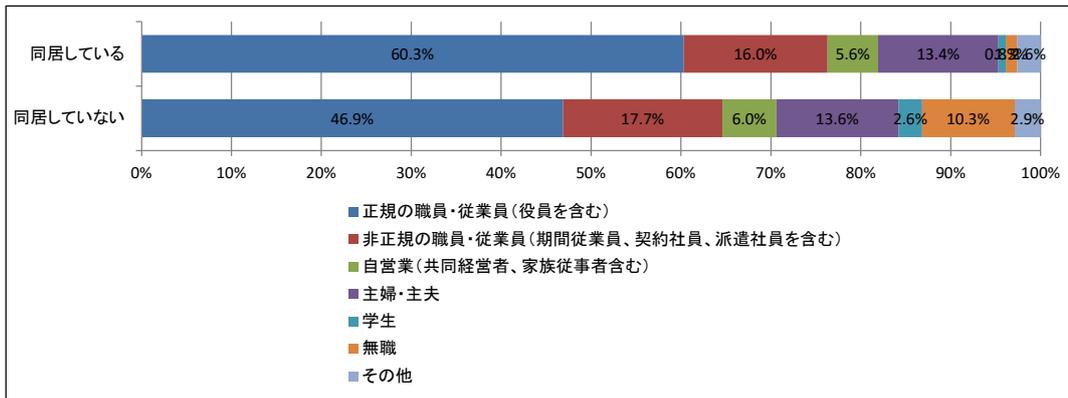
	20代～	30代～	40代～	50代～	60代～	合計	無回答
同居している	28 4.5%	139 22.3%	324 51.9%	110 17.6%	23 3.7%	624 100.0%	5
同居していない	431 18.8%	400 17.4%	378 16.4%	521 22.7%	568 24.7%	2298 100.0%	20



F3 職業について

・職業は、「正規の職員・従業員(役員を含む)」が同居の有無にかかわらず最も多く、同居している層が60.3%、同居していない層が46.9%であった。また、「無職」の割合は、同居している層が1.3%、同居していない層が10.3%であった。

	正規の職員・従業員(役員を含む)	非正規の職員・従業員(期間従業員、契約社員、派遣社員を含む)	自営業(共同経営者、家族従事者を含む)	主婦・主夫	学生	無職	その他	合計	無回答
同居している	377 60.3%	100 16.0%	35 5.6%	84 13.4%	5 0.8%	8 1.3%	16 2.6%	625 100.0%	4
同居していない	1085 46.9%	410 17.7%	139 6.0%	315 13.6%	60 2.6%	237 10.3%	66 2.9%	2312 100.0%	6

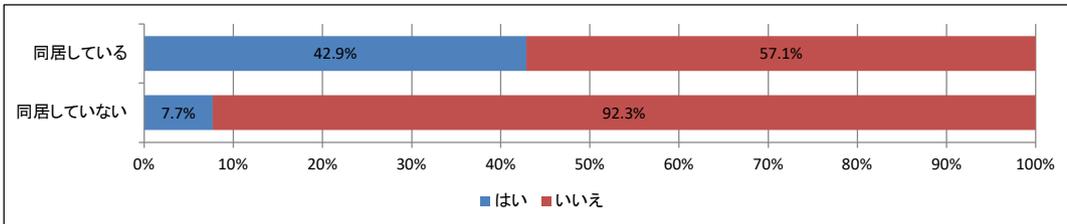


【活動】

問1 ここ1年間で子供の学びや成長を支援する活動に参加しましたか

・ここ1年間で子供の学びや成長を支援する活動に参加した回答者は、同居している層で42.9%、同居していない層で7.7%であった。

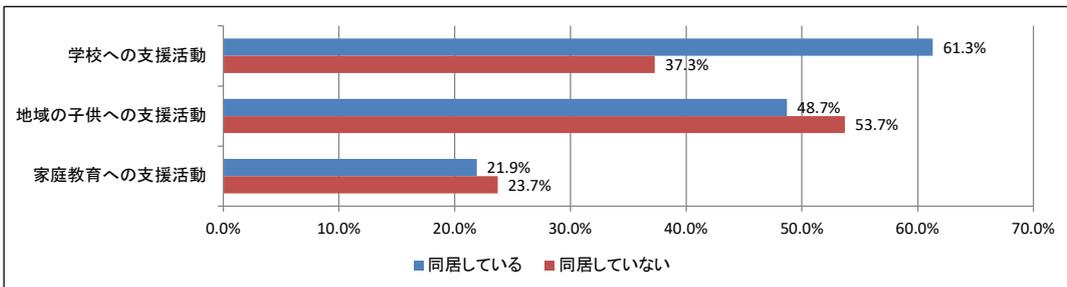
	はい	いいえ	合計	無回答
同居している	270 42.9%	359 57.1%	629 100.0%	0
同居していない	179 7.7%	2136 92.3%	2315 100.0%	3



問2 (問1ではいと回答した方)どのような活動に参加しましたか(複数回答)

・参加された支援活動については、同居している層では「学校への支援活動」が61.3%と最も多く、同居していない層では「地域の子供への支援活動」が53.7%と最も多くなっている。

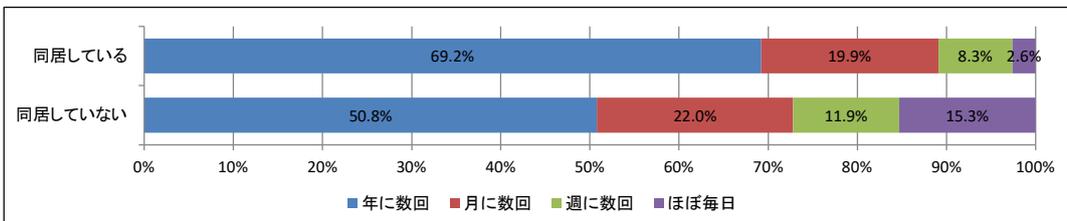
	学校への支援活動	地域の子供への支援活動	家庭教育への支援活動	(無回答=3、N値=452)
同居している	165 61.3%	131 48.7%	59 21.9%	
同居していない	66 37.3%	95 53.7%	42 23.7%	



問3 (問1ではいと回答した方)どのくらいの頻度で参加しましたか

・支援活動の参加頻度をみると、同居している層の「年に数回」が69.2%と多くなっている。一方、「ほぼ毎日」は同居していない層が15.3%であった。

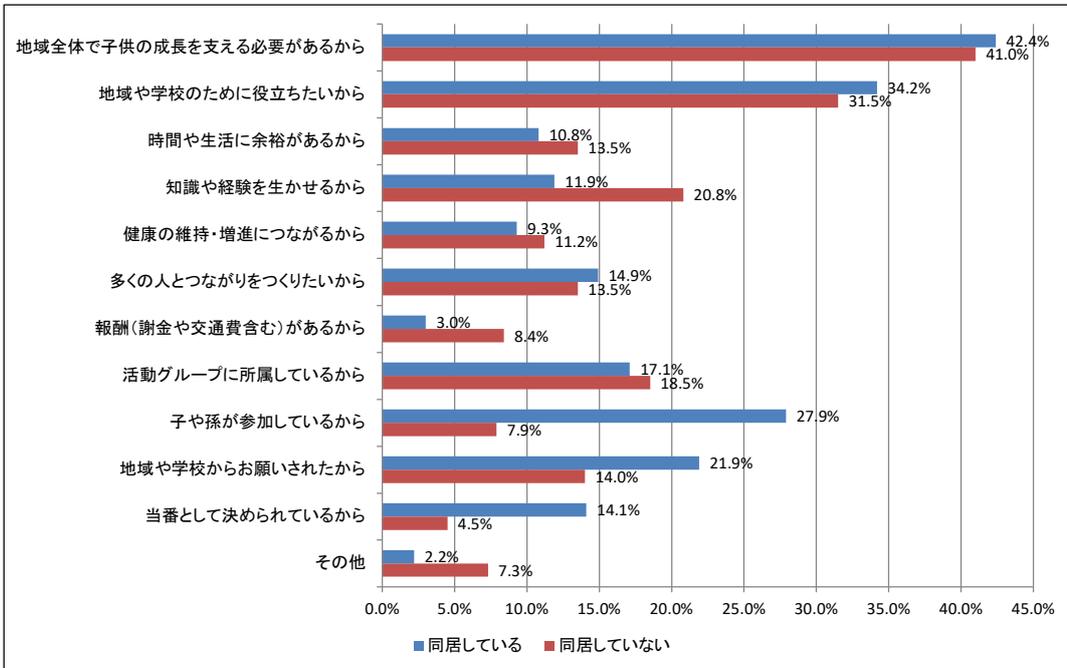
	年に数回	月に数回	週に数回	ほぼ毎日	合計	無回答
同居している	184 69.2%	53 19.9%	22 8.3%	7 2.6%	266 100.0%	4
同居していない	90 50.8%	39 22.0%	21 11.9%	27 15.3%	177 100.0%	2



問4（問1ではいと回答した方）参加した理由について（複数回答）

・支援活動に参加した理由については、同居の有無にかかわらず、「地域全体で子供の成長を支える必要があるから」が最も多くなっている。「子や孫が参加しているから」という理由は、同居している層が同居していない層を大きく上回っている。

	地域全体で子供の成長を支える必要があるから	地域や学校のために役立ちたいから	時間や生活に余裕があるから	知識や経験を生かせるから	健康の維持・増進につながるから	多くの人とつながりをつくりたいから	報酬（謝金や交通費含む）があるから	活動グループに所属しているから	子や孫が参加しているから	地域や学校からお願いされたから	当番として決められているから	その他	(無回答=2、N値=453)
同居している	114 42.4%	92 34.2%	29 10.8%	32 11.9%	25 9.3%	40 14.9%	8 3.0%	46 17.1%	75 27.9%	59 21.9%	38 14.1%	6 2.2%	
同居していない	73 41.0%	56 31.5%	24 13.5%	37 20.8%	20 11.2%	24 13.5%	15 8.4%	33 18.5%	14 7.9%	25 14.0%	8 4.5%	13 7.3%	

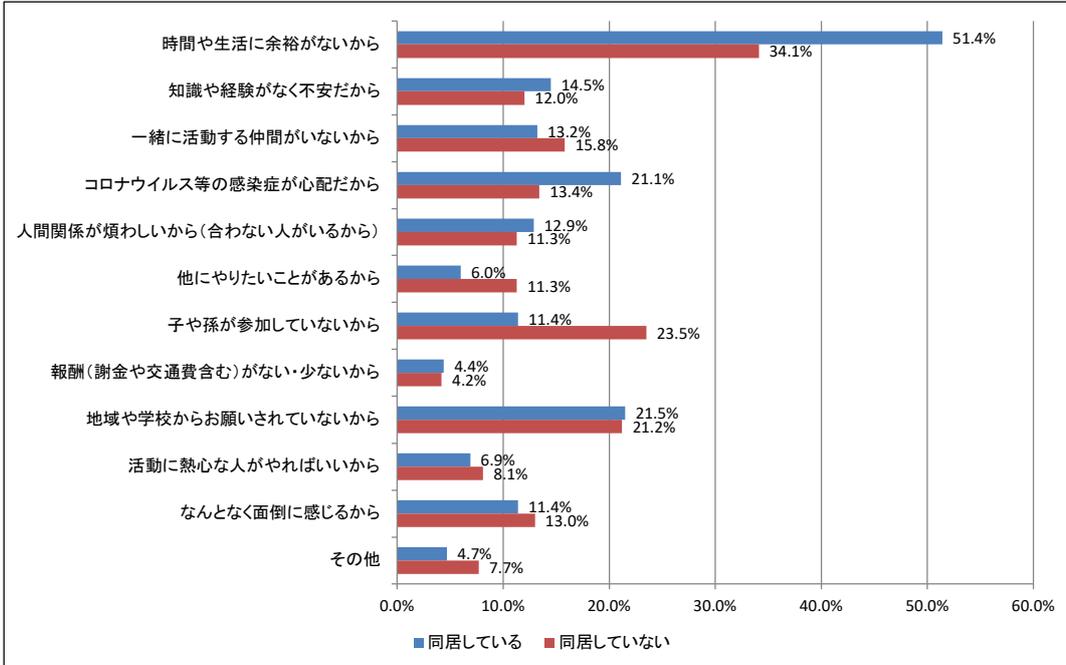


問5（問1でいいえと回答した方）参加していない理由について（複数回答）

・支援活動に参加していない理由では、「時間や生活に余裕がないから」が同居している層の51.4%に対し、同居していない層は34.1%と17.3ポイントの差がある。「子や孫が参加していないから」という理由では同居していない層が23.5%と同居している層を12.1ポイント上回っている。

	時間や生活に余裕がないから	知識や経験がなく不安だから	一緒に活動する仲間がいないから	コロナウイルス等の感染症が心配だから	人間関係が煩わしいから（合わない人がいるから）	他にやりたいことがあるから	子や孫が参加していないから	報酬（謝金や交通費含む）が少ないから	地域や学校からお願ひされていないから	活動に熱心な人がやればよいから	なんとなく面倒に感じるから	その他
同居している	163 51.4%	46 14.5%	42 13.2%	67 21.1%	41 12.9%	19 6.0%	36 11.4%	14 4.4%	68 21.5%	22 6.9%	36 11.4%	15 4.7%
同居していない	602 34.1%	212 12.0%	279 15.8%	236 13.4%	200 11.3%	200 11.3%	416 23.5%	75 4.2%	374 21.2%	144 8.1%	229 13.0%	136 7.7%

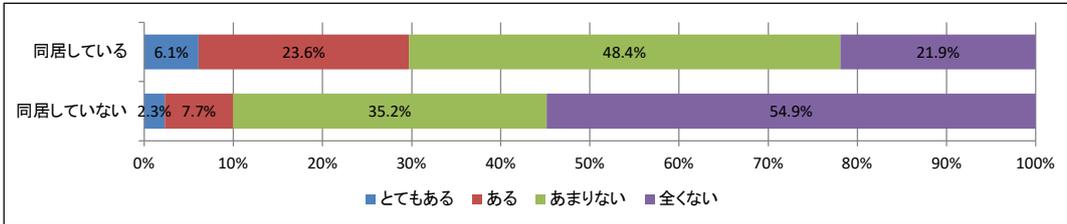
（無回答
=420、N値
=2120）



問6 地域の子供の成長に、自身が貢献している実感はありますか

・地域の子供の成長に貢献している実感について、「とてもある」「ある」と回答した方は、同居している層では29.7%、同居していない層では10%であった。

	とてもある	ある	あまりない	全くない	合計	無回答
同居している	37 6.1%	144 23.6%	296 48.4%	134 21.9%	611 100.0%	18
同居していない	49 2.3%	167 7.7%	765 35.2%	1194 54.9%	2175 100.0%	143

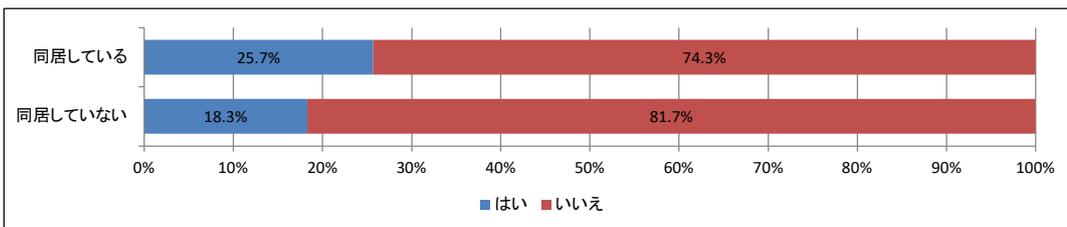


【認識】

問7 コミュニティ・スクールまたは学校運営協議会という言葉を知っていますか

・『コミュニティ・スクール』の認知度は、同居している層では25.7%、同居していない層では18.9%であった。

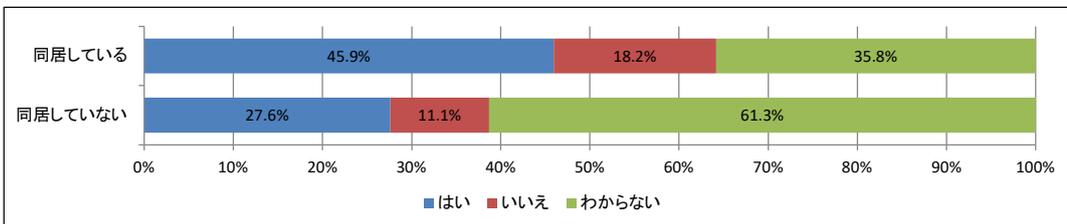
	はい	いいえ	合計	無回答
同居している	161 25.7%	466 74.3%	627 100.0%	2
同居していない	418 18.3%	1872 81.7%	2290 100.0%	28



問8 (問7ではいと回答した方)住んでいる地域にコミュニティ・スクールはありますか

・住んでいる地域に『コミュニティ・スクール』があると回答した方は、同居している層が45.9%と多くなっている。同居していない層の6割強は「わからない」と答えている。

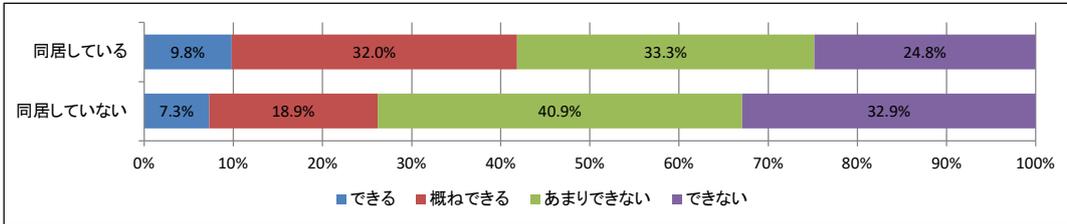
	はい	いいえ	わからない	合計	無回答
同居している	73 45.9%	29 18.2%	57 35.8%	159 100.0%	2
同居していない	115 27.6%	46 11.1%	255 61.3%	416 100.0%	2



問9 (問7ではいと回答した方)コミュニティ・スクールまたは学校運営協議会について、どのような仕組みであるか説明することができますか

・『コミュニティ・スクール』の仕組みを説明できる(「できる」+「概ねできる」)と回答された方は、同居している層では41.8%、同居していない層では26.2%であった。

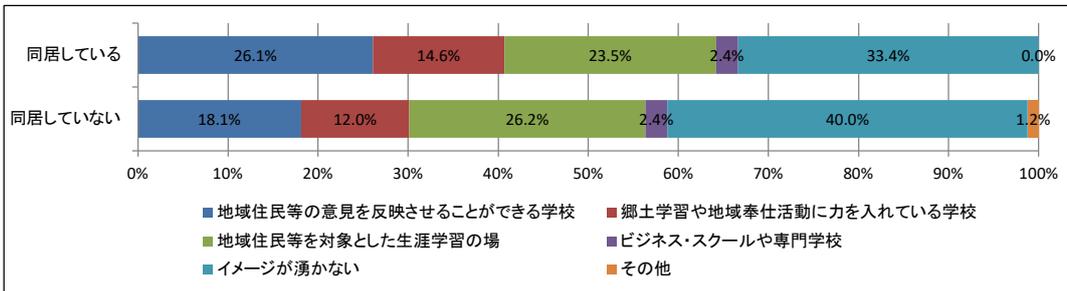
	できる	概ねできる	あまりできない	できない	合計	無回答
同居している	15 9.8%	49 32.0%	51 33.3%	38 24.8%	153 100.0%	8
同居していない	28 7.3%	73 18.9%	158 40.9%	127 32.9%	386 100.0%	32



問10 (問7でいいえと回答した方)コミュニティ・スクールという言葉からどのようなイメージを受けますか

・『コミュニティ・スクール』という言葉のイメージについて多いものは、同居している層では「地域住民等の意見を反映させることができる学校」26.1%、同居していない層では「地域住民等を対象とした生涯学習の場」26.2%であった。

	地域住民等の意見を反映させることができる学校	郷土学習や地域奉仕活動に力を入れている学校	地域住民等を対象とした生涯学習の場	ビジネス・スクールや専門学校	イメージが湧かない	その他	合計	無回答
同居している	111 26.1%	62 14.6%	100 23.5%	10 2.4%	142 33.4%	0 0.0%	425 100.0%	41
同居していない	296 18.1%	197 12.0%	429 26.2%	40 2.4%	654 40.0%	20 1.2%	1636 100.0%	236



問11 地域学校協働活動や地域学校協働活動推進員という言葉を知っていますか

・『地域学校協働活動』や『地域学校協働活動推進員』という言葉の両方あるいはどちらかを知っていると答えた方は、同居している層では20.4%、同居していない層では12.0%であった。

	両方とも知っている	地域学校協働活動という言葉を知っている	地域学校協働活動推進員という言葉を知っている	両方とも知らない	合計	無回答
同居している	56 9.1%	44 7.1%	26 4.2%	491 79.6%	617 100.0%	12
同居していない	121 5.5%	80 3.6%	65 2.9%	1939 87.9%	2205 100.0%	113

